VER 1-3

鉄鋼需給の動き

2025 年 1 月

一般社団法人日本鉄鋼連盟

〔概　況〕　注：概況本文は、12 月 13 日（金）市場委員会にて報告した内容。　2025.1

日本経済は持ち直しが期待されるものの、力強さを欠いている。需要面では、10 月の総消費動向指数が 4 ヵ月連続で増加、同月の輸出数量指数が 2 ヵ月ぶりに上昇した一方、9 月の機械受注は 3 ヵ月連続で減少した。供給側では、10 月の鉱工業生産指数は 2 ヵ月連続で上昇も、一進一退で推移している。

海外経済について、米国は、雇用の伸びに鈍化がみられるが、インフレ圧力が緩和するなか、景気は個人消費を中心に底堅く推移している。中国は、一連の経済刺激策による局所的効果は窺えるものの、不動産不況により、消費が盛り上がりを欠くなど、内需は振るわず、外需が下支えする状況が続く。欧州では、内外需ともに回復力に乏しく、停滞が続く製造業に加え景気改善を牽引してきたサービス業にも弱さが窺われ始め、11 月の景況感（ユーロ圏総合 PMI、速報値）が 2 ヵ月ぶりに 50 を下回った。

国内鉄鋼需要産業を見ると、10 月の新設住宅着工戸数が 6 ヵ月連続、非住宅着工床面積が 4 ヵ月連続で前年を下回り、四輪車生産が 2 ヵ月連続で減少したほか、汎用・業務用機械が 10 ヵ月連続で低下した。建設業、製造業ともに需要に弱さが見られるなか、10 月の国内鉄鋼統計は、粗鋼生産（速報、693 万トン、前年同月比 7.8%減）、普通鋼鋼材生産（467 万トン、同 7.0%減）ともに 8 ヵ月連続で減少した。普通鋼鋼材出荷は、国内向け（314 万トン、同 2.6%減、6 ヵ月連続）、輸出向け（169 万トン、同 4.6%減、2 ヵ月ぶり）ともに減少し、全体（483 万トン、同 3.3%減）では 13 ヵ月連続の前年割れとなった。

海外鉄鋼市場について、世界粗鋼生産（10 月）は前年同月比 1.0%増の 1 億 5,210 万トンと 4 ヵ月ぶりの増加となった。うち、中国は前年同月比 2.9%増の 8,188 万トン（日産量 264.1 万トン）と 4 ヵ月ぶりに前年同月比で増加した。需給バランスに改善がみられないなか、同国の鋼材輸出は同 40.8%増の 1,118 万トンとなり、2 ヵ月連続で 1,000 万トンを超え、月間では過去 2 番目の極めて高い水準となった。

当面の経済及び鉄鋼需要の下振れリスクとして、米国新政権発足に伴う貿易制限的措置の強化による影響、散見される政情不安による先行き不透明感の高まり、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東地域をめぐる情勢、中国経済低迷の長期化とそれに伴う鉄鋼需給バランスの悪化、金融市場の変動、物価の高止まり、人手不足による生産活動への影響などが挙げられる。こうしたリスクを踏まえ、引き続き、内外経済及び鋼材需要の動向を注視する必要がある。

1.経済動向

- 11 月の景気動向指数（一致指数、速報値）は、前月から 1.5 ポイント低下の 115.3 と 3 ヵ月ぶりの低下。
- 11 月の完全失業率は前月から横ばいの 2.5%。同月の消費者物価上昇率は前月から 0.4 ポイント上昇の 2.7%。
- 11 月の小売業販売額は前年同月比 2.8%増と 33 ヵ月連続の増加、同月の総消費動向指数は前年同月比 0.4%増と 4 ヵ月連続の上昇。
- 12 月の乗用車販売は前年同月比 7.6%減の 25.1 万台と 3 ヵ月連続の減少。普通車、小型車、軽がいずれも減少。
- 11 月の機械受注は前月比 3.4%増と 2 ヵ月連続の増加。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」に上方修正。
- 11 月の鉱工業生産は 3 ヵ月ぶりの前月比低下。基調判断は「一進一退」を維持。先行きは、12 月、1 月ともに上昇を予測。

2.鉄鋼需要産業動向

（建設部門）

- 土木：11 月の土木工事受注額は、公共土木が前年同月比 14.4%減と 3 ヵ月ぶりの減少。民間土木は同 14.0%増と 4 ヵ月連続の増加。
- 建築：11 月の新設住宅着工戸数は前年同月比 1.8%減と 7 ヵ月連続の減少。非住宅着工床面積は同 0.6%減と 5 ヵ月連続の減少。

（製造業部門）

- 自動車：11 月の四輪車生産は前年同月比 13.8%減の 73.9 万台と 4 ヵ月連続の減少。
- 産業機械：11 月の生産用機械は前年同月比 2.8%増と 2 ヵ月連続の上昇、汎用・業務用機械は同 2.9%減と 11 ヵ月連続の低下。
- 造船：11 月の輸出船契約量は前年同月比 74.4%減の 23.6 万 G/T と 3 ヵ月連続の減少。同月末の手持工事量は 2,967 万G/T。

3.鋼材受注

- 普通鋼：11 月の内需は前年同月比 8.2%減の 272 万トンと 6 ヵ月連続の減少。
- 特殊鋼：11 月の内需は前年同月比 2.4%減の 84 万トンと 10 ヵ月連続の減少。

4.鉄鋼需給（生産・出荷・在庫）

- 粗鋼生産：11 月の粗鋼生産は前年同月比 3.1%減の 689 万トンと 9 ヵ月連続の減少。
- 鋼材生産：11 月の普通鋼鋼材生産は前年同月比 5.8%減の 459 万トンと 9 ヵ月連続の減少。10 月の特殊鋼鋼材生産は同 5.5%減の 119 万トンと 9 ヵ月連続の減少。
- 出荷：11 月の普通鋼鋼材国内向け出荷は前年同月比 6.8%減の 292 万トンと 7 ヵ月連続の減少。10 月の特殊鋼鋼材国内向け出荷は同 1.5%減の 91 万トンと 10 ヵ月連続の減少。
- 在庫：11 月末の普通鋼鋼材国内在庫は 495 万トンと前月末比 2 ヵ月連続の減少。10 月末の特殊鋼鋼材在庫は 168 万トンと同 2 ヵ月連続の減少。

5.鋼材輸入、鋼材流通

- 11 月の鋼材輸入は、前年同月比 7.9%増の 48 万トンと 3 ヵ月連続の増加。

6.鉄鋼輸出

- 11 月の全鉄鋼輸出は、前年同月比 3.7%減の 249 万トンと 4 ヵ月連続の減少。

7.海外市場

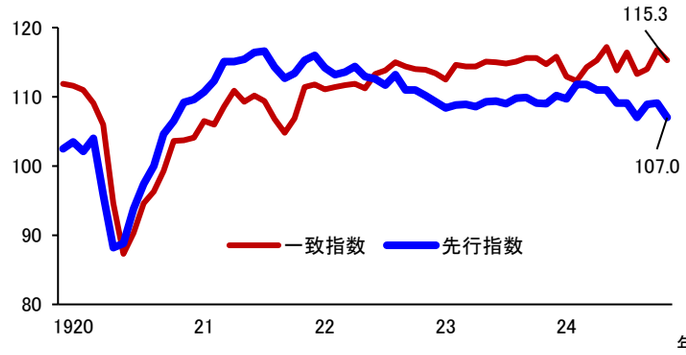
- 世界粗鋼生産：11 月（worldsteel、71 ヵ国）の粗鋼生産は前年同月比 0.8%増の 1 億 4,680 万トンと 2 ヵ月連続の増加。
- 中国：12 月（国家統計局）の粗鋼生産は、前年同月比 11.8%増の 7,597 万トン（日産量 245 万トン）と 3 ヵ月連続の前年同月比増加。2024 暦年では前年比 1.7%減の 10 億 509 万トンと、5 年連続の 10 億トン超え。同月の鋼材輸出は前年同月比 25.9%増の 973 万トンと 18 ヵ月連続の前年同月比増加、5 ヵ月連続の 900 万トン超え。2024 暦年では前年比 22.7%増の 1 億 1,072 万トンと、2015 年の 1 億 1,240 万トンに次ぐ高水準。2015 年、2016 年以来 3 度目の 1 億トン超え。

1. 経済動向　－11月の鉱工業生産は3ヵ月ぶりに低下、先行きは12月、1月ともに上昇の見込み－

・11月の景気動向指数（2020年=100、速報値）は、景気の現状を示す「一致指数」が115.3となり、前月から1.5ポイント低下した。指数の低下は3ヵ月ぶりとなった。内閣府は景気の現状について「下げ止まりを示している」として、前月の判断を維持した。
・また、景気の先行きを示す「先行指数」は前月を2.1ポイント下回る107.0と3ヵ月ぶりに低下した。

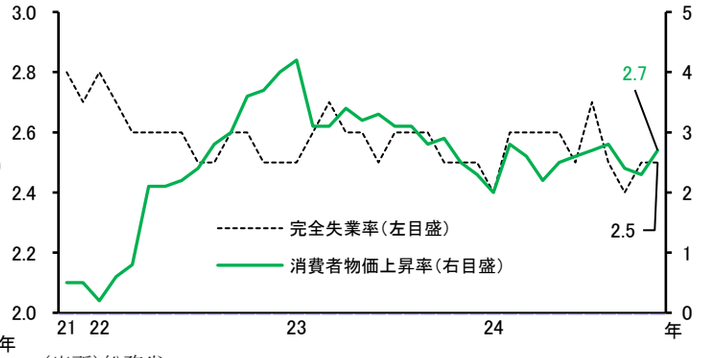
・11月の完全失業率は前月から横ばいの2.5%。
・11月の消費者物価指数上昇率（生鮮食品を除く総合、前年同月比）は前月から0.4ポイント上昇の+2.7%。

〔図1〕景気動向指数（CI:2020年=100）



（出所）内閣府
（注）一致指数とは、景気の動きとほぼ一致して動く経済指標で構成されている指数。先行指数とは、景気の動きに先行して変動する経済指標で構成されている指数。

〔図2〕失業率と消費者物価上昇率

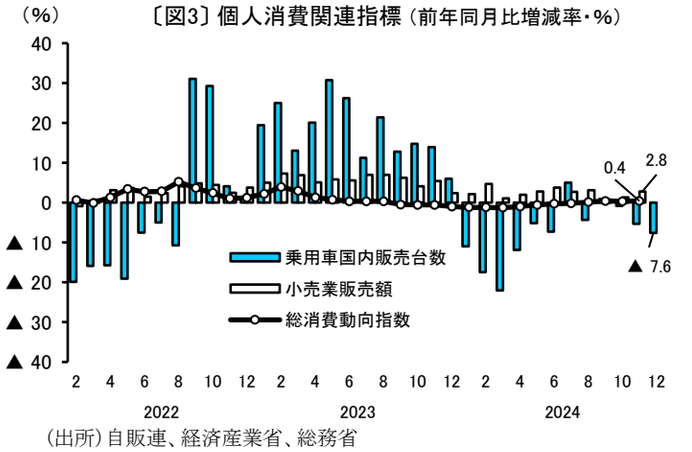


（出所）総務省

・12月の乗用車販売（除・輸入車）は前年同月比7.6%減と3ヵ月連続の減少。普通車が4ヵ月ぶり、小型車が2ヵ月連続、軽四輪が3ヵ月連続のマイナスとなった。
・11月の小売業販売額は前年同月比2.8%増と33ヵ月連続の増加。
・同月の総消費動向指数（2020年基準、実質）は前年同月比0.4%増と4ヵ月連続のプラスとなった。

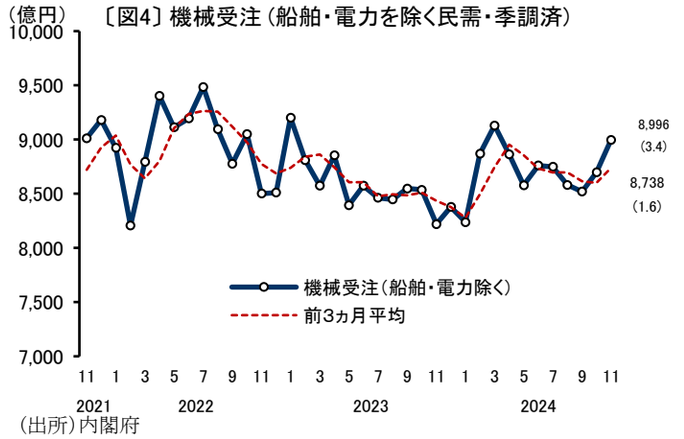
・11月の機械受注（船舶・電力を除く民需）は、全体では前月比（季調済。以下、同）3.4%増の8,996億円と2ヵ月連続の増加。内訳は、製造業（6.0%増）は化学工業、情報通信機械等の増加により2ヵ月連続の増加、非製造業（1.2%増）は通信業等の増加により2ヵ月ぶりの増加となった。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」に上方修正した。

〔図3〕個人消費関連指標（前年同月比増減率・%）



（出所）自販連、経済産業省、総務省

〔図4〕機械受注（船舶・電力を除く民需・季調済）

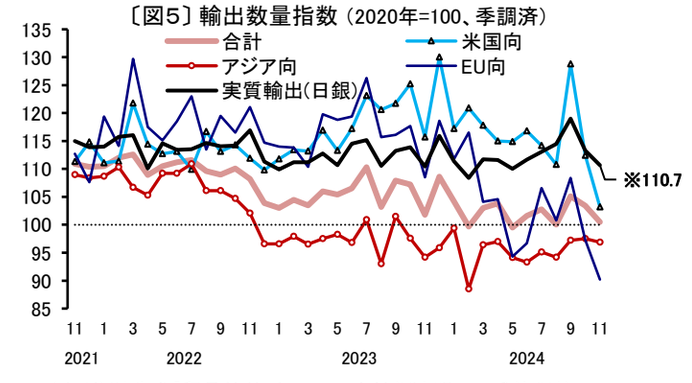


（出所）内閣府

・11月の輸出数量指数（季調済）は前月比2.8%減と2ヵ月連続の低下となった。向け先別では、アジア向けが3ヵ月ぶり、米国向け、EU向けがともに2ヵ月連続の低下となった。
・11月の実質輸出（日銀）は前月比2.3%減と2ヵ月連続で低下した。

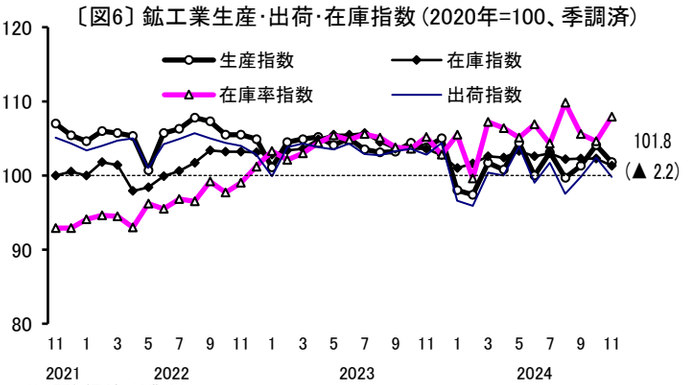
・11月の鉱工業生産は、前月比（季調済。以下、同）2.2%減の101.8と3ヵ月ぶりに低下した。業種別にみると、生産用機械工業、自動車工業等が低下した。製造工業生産予測調査は、12月は2.1%増、1月は1.3%増と予測。基調判断は「一進一退」を維持。出荷（99.8）は同2.5%減、在庫（101.3）は同1.0%減、在庫率（107.9）は3.2%ポイント増と上昇した。

〔図5〕輸出数量指数（2020年=100、季調済）



（出所）財務省「貿易統計」を元に日本鉄鋼連盟にて季節調整。
（※）は日銀「実質輸出指数」（2020年=100、季調済）。

〔図6〕鉱工業生産・出荷・在庫指数（2020年=100、季調済）



（出所）経済産業省

２．鉄鋼需要産業動向　－12 月の四輪車販売は 3 ヵ月連続のマイナス－

＜土木＞

○12 月の公共土木工事前払金保証請負金額は前年同月比 6.5%増の 3,922 億円と 3 ヵ月連続の増加

・ 発注者別には、地方の機関(1.7%減・3 ヵ月ぶり)が減少したものの、国の機関(41.0%増・5 ヵ月ぶり)が増加したことから、全体では前年同月比 6.5%増の 3,922 億円と 3 ヵ月連続の増加となった。

・ 24 暦年では、前年比 5.2%増の 8 兆 9,281 億円と、2 年連続の増加となった。

○11 月の公共土木工事受注額は前年同月比 14.4%減の 8,663 億円、3 ヵ月ぶりの減少

・ 治山治水(9.7%増)、道路(6.5%増)が増加したものの、下水道公園(14.7%減)、上工業水道(65.2%減)等が減少し全体では前年同月比 14.4%減の 8,663 億円と 3 ヵ月ぶりの減少となった。

○11 月の民間土木工事受注額は前年同月比 14.0%増の 3,667 億円、4 ヵ月連続の増加

・ 運輸通信(16.6%減)、不動産(4.5%減)等が減少したものの、製造・鉱業・建設(約 2.6 倍)、電気ガス(21.0%増)等が増加し、全体では前年同月比 14.0%増の 3,667 億円と 4 ヵ月連続の増加となった。

＜建築＞

○11 月の新設住宅着工戸数は前年同月比 1.8%減の 6.5 万戸と 7 ヵ月連続の減少

・ 利用関係別には、持家(11.1%増・2 ヵ月連続)が増加したものの、貸家(5.5%減・2 ヵ月連続)、分譲(7.3%減・7 ヵ月連続)がともに減少したことから、全体では 1.8%減の 6.5 万戸と 7 ヵ月連続の減少となった。

・ 季節調整済年率換算着工戸数は 77.5 万戸となった。

○11 月の非住宅着工床面積は前年同月比 0.6%減の 315 万㎡と 5 ヵ月連続の減少

・ 用途別では、商業・サービス(12.6%増)、公益事業(11.2%増)、公務文教(3.8%増)が増加したものの、鉱工業(21.0%減)が減少したことから、全体では 0.6%減の 315 万㎡と 5 ヵ月連続の減少となった。

・ 使途別では、倉庫(11.8%増)が増加したものの、事務所(14.0%減)、店舗(13.5%減)、工場(25.6%減)が減少した。

・ 季節調整済年率換算着工床面積は 3,977 万㎡となった。

〔表１〕建 設 関 連 統 計 指 標

（単位：億円，千戸，%）

	公共土木工事前払金保証請負金額			土木工事受注額		新設住宅着工戸数					年率換算着工戸数
		国の機関	地　方	公　共	民　間	合　計	持　家	貸　家	分　譲	(ﾏﾝｼｮﾝ)	
2022年度	83,679	29,180	54,500	148,026	47,264	860.8	248.1	347.4	259.5	113.9	－
2023年度	86,326	29,977	56,349	144,655	43,710	800.2	219.6	340.4	235.0	100.2	－
2023年10-12月	14,427	2,574	11,853	30,521	9,558	202.6	52.9	85.8	62.5	27.6	799.1
2024年 1- 3月	20,348	8,671	11,677	47,574	13,003	182.3	47.7	77.8	55.6	25.5	785.6
4- 6月	31,040	14,469	16,570	30,974	12,150	208.8	54.3	90.0	62.5	31.4	819.3
7- 9月	22,654	5,381	17,273	38,966	9,696	203.4	58.8	91.5	51.3	21.2	783.2
10-12月	15,240	2,797	12,443	－	－	－	－	－	－	－	－
2024年 10月	6,562	1,025	5,537	11,182	3,954	69.7	19.7	29.5	19.6	8.8	778.7
11月	4,756	780	3,976	8,663	3,667	65.0	19.8	26.7	18.1	7.9	774.9
12月	3,922	992	2,930	－	－	－	－	－	－	－	－
2022年度	▲2.1	▲0.3	▲3.0	2.4	8.2	▲0.6	▲11.8	5.0	4.5	10.8	－
2023年度	3.2	2.7	3.4	▲2.3	▲7.5	▲7.0	▲11.5	▲2.0	▲9.4	▲12.0	－
2023年10-12月	4.2	▲2.9	5.9	▲2.9	▲11.0	▲6.3	▲16.2	▲3.3	▲0.3	8.1	*0.3*
2024年 1- 3月	7.7	7.0	8.3	1.0	▲12.5	▲9.6	▲9.0	▲4.3	▲16.9	▲23.1	*▲1.7*
4- 6月	6.9	9.5	4.8	5.7	9.3	0.5	▲6.0	2.9	2.2	24.0	*4.3*
7- 9月	0.6	▲2.5	1.6	4.6	▲3.4	▲2.0	▲3.9	2.5	▲8.1	▲2.8	*▲4.4*
10-12月	5.6	8.6	5.0	－	－	－	－	－	－	－	－
2024年 10月	8.0	▲3.7	10.5	12.6	40.1	▲2.9	9.0	▲6.7	▲9.3	▲13.1	*▲2.7*
11月	1.9	▲3.3	3.0	▲14.4	14.0	▲1.8	11.1	▲5.5	▲7.3	2.9	*▲0.5*
12月	6.5	41.0	▲1.7	－	－	－	－	－	－	－	－
1月からの累計	89,281	31,317	57,964	137,360	42,470	729.1	200.3	315.6	207.1	94.9	－
前年同期	84,869	29,413	55,456	133,730	42,054	755.0	207.3	318.0	225.0	98.2	－
増　減　量	4,412	1,904	2,507	3,630	416	▲25.9	▲7.0	▲2.4	▲17.9	▲3.3	－
前年同期比	5.2	6.5	4.5	2.7	1.0	▲3.4	▲3.4	▲0.8	▲7.9	▲3.3	－

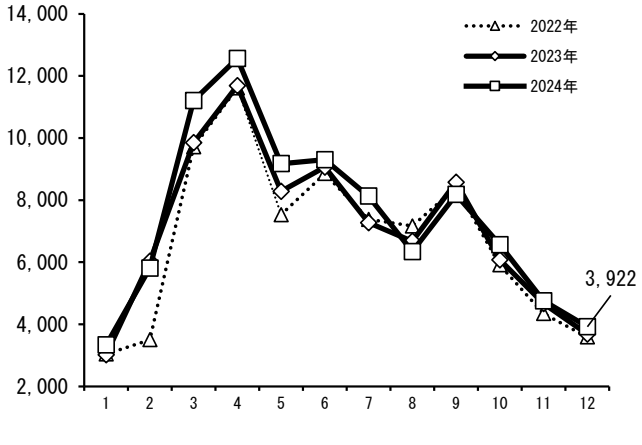
（出所）保証事業会社協会、国土交通省

（注）1. 土木工事受注額の公共土木は公共工事計から教育病院・住宅宿舎・庁舎その他を除いたもの。

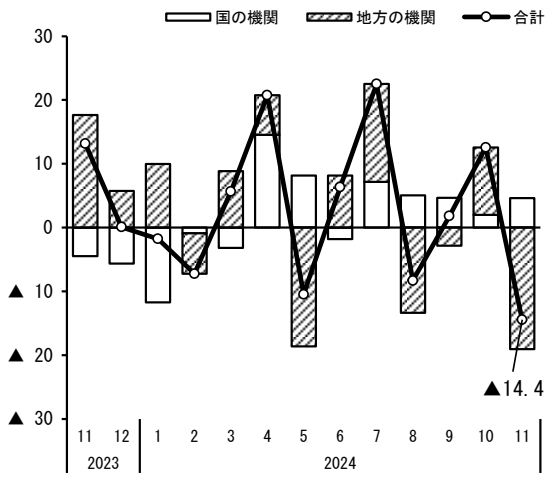
2. 年率換算着工戸数は前月（期）比増減率。

3. 土木工事受注額は、2021年4月より推計方法が変更されたため、それ以前とは接続しない。

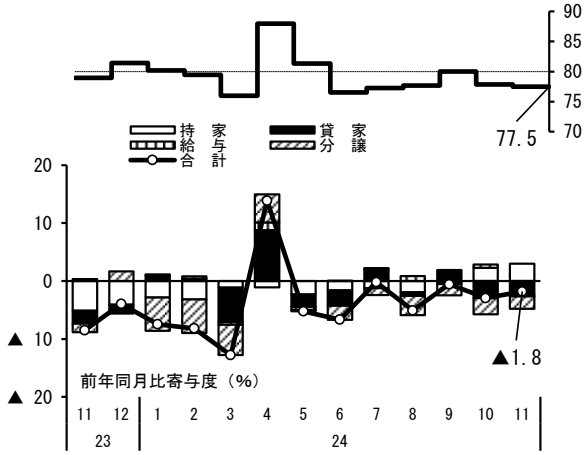
〔図７〕公共土木工事前払金保証請負金額（億円）



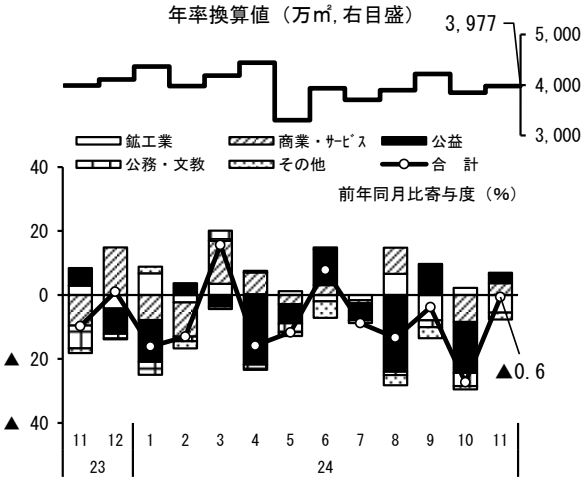
〔図８〕公共土木工事受注額（前年同月比寄与度・%）



〔図９〕新設住宅着工戸数
年率換算値（万戸,右目盛）



〔図１０〕非住宅用途別着工床面積
年率換算値（万㎡,右目盛）



〔表１〕建 設 関 連 統 計 指 標 （続）

（単位：万㎡，%）

	建築着工床面積計	居住用	非居住用	用途別				使途別				鋼構造建築着工床面積		
				(鉱工業)	(商業ｻｰﾋﾞｽ)	(公益事業)	(公務文教)	(事務所)	(店舗)	(工場)	(倉庫)	ＳＲＣ	ＲＣ	Ｓ
2022年度	11,872	7,182	4,690	1,099	1,481	1,124	738	600	427	874	1,281	238	2,458	4,197
2023年度	10,831	6,552	4,279	959	1,397	1,049	668	621	363	728	1,184	153	2,260	3,834
2023年 7- 9月	2,777	1,702	1,075	238	329	263	183	125	96	174	293	48	555	924
10-12月	2,808	1,687	1,122	227	392	285	174	173	101	176	328	32	629	1,000
2024年 1- 3月	2,399	1,437	962	255	328	199	138	194	75	181	221	20	459	932
4- 6月	2,727	1,695	1,031	239	380	213	158	138	114	190	238	39	583	970
7- 9月	2,592	1,610	983	227	355	195	171	137	97	193	236	28	458	923
2024年 9月	890	542	348	83	98	98	58	38	28	61	113	3	160	328
10月	909	573	336	78	110	77	60	54	24	60	88	34	172	296
11月	844	529	315	66	104	86	50	33	25	48	99	20	149	283
2022年度	▲3.1	▲3.5	▲2.4	15.4	▲13.9	0.4	2.0	▲20.9	1.9	20.7	▲4.3	21.0	15.4	▲7.9
2023年度	▲8.8	▲8.8	▲8.8	▲12.7	▲5.7	▲6.7	▲9.4	3.4	▲15.0	▲16.8	▲7.6	▲35.5	▲8.1	▲8.7
2023年 7- 9月	▲11.5	▲9.6	▲14.3	▲11.1	▲12.7	▲19.7	▲12.2	▲27.3	▲9.5	▲13.6	▲18.7	7.7	▲13.7	▲16.6
10-12月	▲1.2	▲6.0	6.8	▲10.1	7.7	50.8	▲7.5	28.0	▲0.5	▲12.3	51.0	▲37.8	23.6	▲1.0
2024年 1- 3月	▲10.8	▲13.5	▲6.4	12.4	▲8.6	▲19.5	▲8.1	34.9	▲27.9	1.1	▲22.6	▲70.8	▲28.8	2.5
4- 6月	▲4.2	▲1.8	▲8.0	▲0.5	9.4	▲29.4	▲8.6	6.8	26.0	▲3.3	▲30.2	▲27.1	▲5.5	▲0.9
7- 9月	▲6.7	▲5.4	▲8.6	▲4.6	7.7	▲26.0	▲6.4	9.7	1.3	10.8	▲19.6	▲41.1	▲17.5	▲0.2
2024年 9月	▲3.2	▲2.9	▲3.8	▲25.7	0.2	55.1	▲11.9	2.0	▲20.9	▲23.5	46.0	▲70.9	▲7.8	2.4
10月	▲16.2	▲8.0	▲27.3	15.3	▲26.2	▲48.9	▲23.9	21.8	▲42.8	7.3	▲48.1	111.7	▲36.9	▲26.4
11月	▲0.9	▲1.0	▲0.6	▲21.0	12.6	11.2	3.8	▲14.0	▲13.5	▲25.6	11.8	154.2	▲16.0	2.1
4月からの累計	7,072	4,407	2,665	609	949	571	440	362	260	491	661	121	1,362	2,471
前年同期	7,561	4,586	2,975	628	918	793	484	337	257	491	893	125	1,622	2,581
増減量	▲489	▲179	▲310	▲19	31	▲222	▲44	25	3	▲*	▲232	▲4	▲260	▲110
前年同期比	▲6.5	▲3.9	▲10.4	▲3.1	3.3	▲28.0	▲9.0	7.5	1.2	0.0	▲26.0	▲3.2	▲16.0	▲4.3

＜自動車＞－11 月の四輪車生産は 4 ヵ月連続のマイナス－

○12 月の国内販売(輸入車除く)は前年同月比 9.3%減の 29.9 万台と 3 ヵ月連続のマイナス

・ 12 月の国内販売(輸入車除く)は、乗用車(7.6%減)は、普通車が 4 ヵ月ぶり、小型車が 2 ヵ月連続、軽四輪が 3 ヵ月連続のマイナスとなったことから、全体でも 3 ヵ月連続の減少となった。トラック(17.0%減)は、普通車が 4 ヵ月連続のプラスとなったものの、小型車、軽四輪が減少し、全体でも 2 ヵ月連続の減少となった。バス(23.0%減)は、2 ヵ月連続のマイナス。四輪車計(輸入車除く)では、前年同月比 9.3%減の 29.9 万台と 3 ヵ月連続のマイナスとなった。

・ 24 暦年の国内販売(輸入車除く)は前年比 8.2%減の 410 万台と 2 年ぶりのマイナス。また輸入車を含む合計では同 7.5%減の 442 万台と 2 年ぶりのマイナスとなった。

○11 月の完成車輸出は前年同月比 8.2%減の 36.7 万台と 7 ヵ月連続のマイナス

・ 11 月の完成車輸出は、中近東向け(32.0%増)、オセアニア向け(22.8%増)が増加したものの、アジア向け(1.2%減)、欧州向け(29.6%減)、北米向け(18.2%減)が減少したことから、全体では前年同月比 8.2%減の 36.7 万台と 7 ヵ月連続のマイナスとなった。

・ 12 月の米国新車販売は、前年同月比 1.9%増の 149.8 万台と 3 ヵ月連続のプラス。季調済・年率換算では1,680万台となった。また、同月の中国新車販売(中国汽車工業協会発表)は、前年同月比10.5%増の 349 万台と 3 ヵ月連続のプラスとなった。

○11 月の四輪車生産は前年同月比 13.8%減の 73.9 万台と 4 ヵ月連続のマイナス

・ 11 月の四輪車生産は、乗用車(12.7%減)は、普通車が 2 ヵ月ぶり、小型車と軽が 4 ヵ月連続のマイナスとなり、全体では 4 ヵ月連続で減少した。トラック(23.2%減)は、普通車が 3 ヵ月ぶり、小型車、軽が 4 ヵ月連続のマイナスとなったことから、全体では 4 ヵ月連続で減少した。四輪車計では前年同月比 13.8%減の 73.9 万台と 4 ヵ月連続のマイナスとなった。

〔表２〕四 輪 車 国 内 販 売 台 数

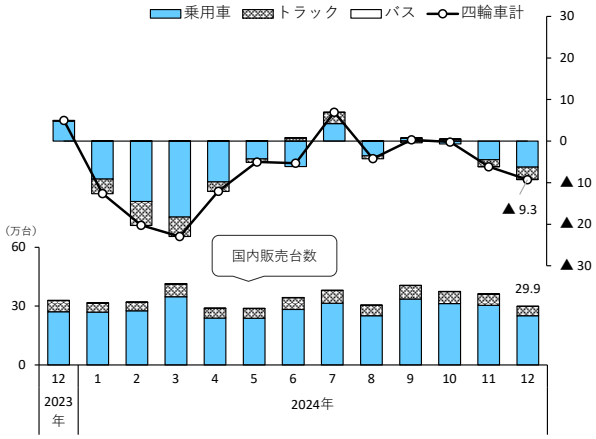
（単位：千台，%）

	四輪車計	国産車販売									輸 入	国 内
		乗用車	普通車	小型車	軽四輪	ﾄﾗｯｸ	普通車	小型車	軽四輪	バ ス		販売計
2022年度	4,078	3,338	1,203	862	1,272	734	114	200	420	6	308	4,386
2023年度	4,217	3,525	1,464	801	1,260	683	129	188	366	9	311	4,529
2023年10-12月	1,091	908	358	210	340	181	30	50	101	2	80	1,172
2024年 1- 3月	1,051	893	407	183	303	155	33	41	81	3	80	1,131
4- 6月	922	761	325	173	263	159	31	44	83	2	74	996
7- 9月	1,091	902	363	213	326	187	36	50	100	3	81	1,172
10-12月	1,036	868	366	192	310	166	35	40	92	2	85	1,122
2024年 10月	375	313	130	77	106	61	11	14	37	1	27	402
11月	362	304	133	64	108	57	12	14	32	1	27	390
12月	299	251	103	51	96	48	12	12	23	1	31	330
2022年度	4.8	5.2	10.2	▲4.0	7.7	3.1	▲15.8	▲1.5	12.4	▲3.9	▲5.4	4.0
2023年度	3.4	5.6	21.8	▲7.1	▲1.0	▲7.0	13.5	▲6.0	▲13.0	49.7	1.2	3.3
2023年10-12月	9.3	11.7	34.5	▲3.9	3.6	▲1.7	14.1	4.9	▲8.4	66.9	▲2.4	8.4
2024年 1- 3月	▲19.2	▲17.5	▲5.9	▲31.2	▲21.2	▲28.2	▲6.3	▲33.6	▲31.9	19.8	▲0.1	▲18.1
4- 6月	▲7.5	▲8.2	▲3.6	▲12.2	▲10.7	▲4.5	5.9	▲7.6	▲6.2	52.9	2.1	▲6.8
7- 9月	1.2	0.7	0.3	0.9	1.2	3.0	1.8	0.2	5.0	26.8	3.7	1.3
10-12月	▲5.0	▲4.4	2.1	▲8.6	▲8.8	▲8.0	15.2	▲19.9	▲9.1	▲9.6	6.3	▲4.3
2024年 10月	▲0.2	▲0.8	4.9	6.8	▲11.4	2.9	20.0	▲14.3	6.5	9.0	25.1	1.2
11月	▲6.1	▲5.4	3.1	▲13.5	▲9.4	▲10.1	18.3	▲18.6	▲13.9	▲11.1	8.6	▲5.2
12月	▲9.3	▲7.6	▲2.3	▲20.1	▲5.1	▲17.0	8.7	▲26.6	▲21.5	▲23.0	▲7.6	▲9.1
1月からの累計	4,101	3,424	1,461	761	1,202	667	136	175	356	10	321	4,421
前年同期	4,468	3,715	1,490	884	1,341	744	131	209	404	8	311	4,779
増 減 量	▲367	▲291	▲29	▲123	▲139	▲77	5	▲34	▲48	2	9	▲358
前年同期比	▲8.2	▲7.8	▲2.0	▲13.9	▲10.4	▲10.4	3.6	▲16.3	▲11.8	18.9	3.0	▲7.5

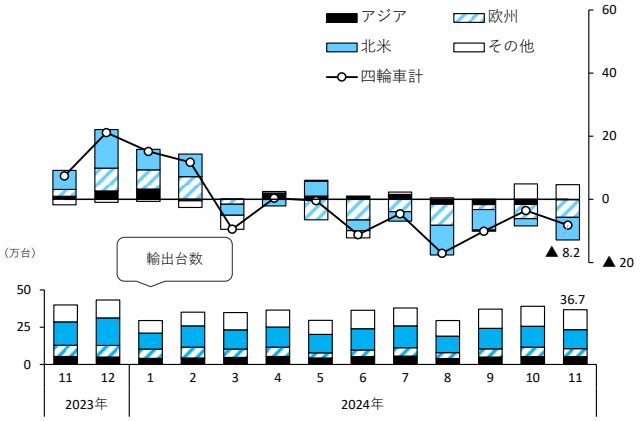
（出所）日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

（注）車種区分は、登録者は03年1月実績より、軽自動車は04年1月実績より、それぞれ従来のシャシーベースからナンバーベースへ変更された。

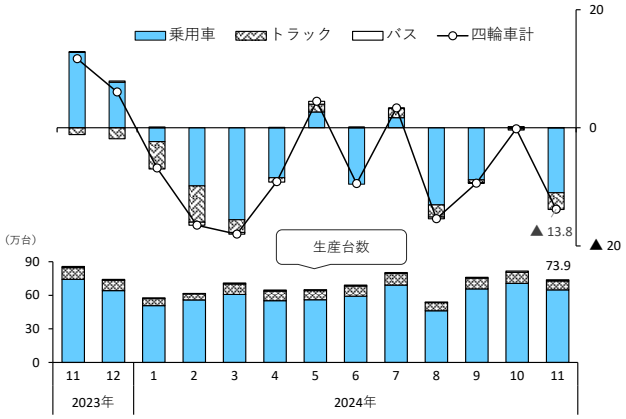
〔図11〕国産車販売台数、前年同月比寄与度（%）



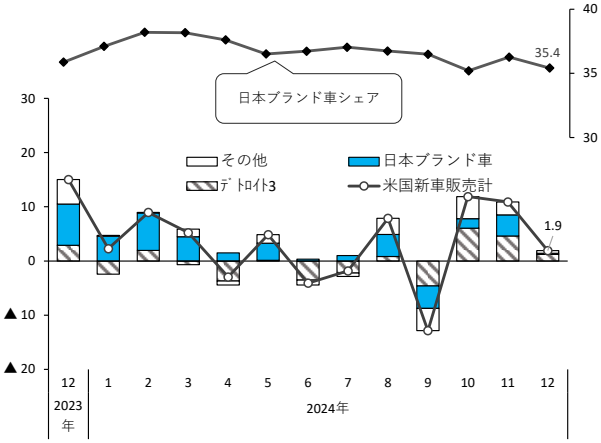
〔図12〕四輪車輸出台数、前年同月比寄与度（%）



〔図13〕四輪車生産台数、前年同月比寄与度（%）



〔図14〕米国新車販売台数、前年同月比寄与度（%）



〔表３〕四輪車仕向地別輸出・生産台数

（単位：千台、%）

	輸出								生産				米国新車販売台数
	合　計	アジア	中近東	欧州	（ＥＵ）	北　米	（米国）	オセアニア	四輪車計	乗用車+トラック	乗用車	トラック	
2022年度	3,864	577	464	592	404	1,438	1,283	409	8,101	8,011	6,815	1,196	14,482
2023年度	4,462	582	467	807	578	1,745	1,501	474	8,678	8,580	7,545	1,035	14,120
2023年 7- 9月	1,163	152	122	195	136	466	404	122	2,258	2,231	1,955	276	3,988
10-12月	1,236	163	122	233	169	493	426	125	2,417	2,390	2,094	295	3,922
2024年 1- 3月	994	132	108	192	139	378	319	105	1,905	1,885	1,675	210	3,780
4- 6月	1,024	150	123	143	97	400	338	117	1,989	1,962	1,705	256	4,089
7- 9月	1,043	146	137	150	108	394	339	116	2,107	2,081	1,811	271	3,895
2024年 9月	370	50	51	55	41	137	117	44	762	752	657	96	1,177
10月	390	52	54	64	43	141	120	45	817	806	707	98	1,351
11月	367	53	53	53	33	128	112	49	739	729	649	80	1,381
2022年度	4.9	▲2.0	39.9	8.9	41.8	▲0.3	▲0.4	▲4.7	7.4	7.2	7.5	5.8	▲3.5
2023年度	15.5	0.9	0.6	36.3	43.2	21.3	17.0	15.9	7.1	7.1	10.7	▲13.5	▲2.5
2023年 7- 9月	14.1	▲13.6	13.9	27.9	31.9	22.9	18.6	14.6	10.6	10.4	14.5	▲12.2	16.9
10-12月	16.5	19.0	▲6.8	36.0	42.8	24.2	18.0	12.7	11.9	11.9	15.6	▲8.9	8.5
2024年 1- 3月	4.2	5.9	▲17.4	20.3	27.2	7.2	5.0	5.5	▲14.4	▲14.3	▲11.7	▲30.6	5.5
4- 6月	▲4.2	9.9	6.7	▲23.8	▲27.5	▲1.8	▲3.9	▲4.6	▲5.2	▲5.4	▲6.4	1.3	▲0.7
7- 9月	▲10.3	▲4.0	12.6	▲23.2	▲20.3	▲15.4	▲16.1	▲5.5	▲6.7	▲6.7	▲7.4	▲1.8	▲2.3
2024年 9月	▲10.1	▲12.0	15.1	▲10.4	▲1.9	▲16.3	▲15.8	▲5.8	▲9.4	▲9.4	▲10.1	▲4.5	▲12.9
10月	▲3.5	▲10.9	38.2	▲22.4	▲28.0	▲6.1	▲8.6	7.7	▲0.2	▲0.4	▲0.2	▲1.9	11.9
11月	▲8.2	▲1.2	32.0	▲29.6	▲39.7	▲18.2	▲16.5	22.8	▲13.8	▲14.0	▲12.7	▲23.2	10.9
4月からの累計	2,824	401	367	409	282	1,064	910	326	5,651	5,578	4,872	706	10,715
前年同期	3,036	400	316	539	385	1,181	1,022	326	6,032	5,961	5,228	734	10,560
増　減　量	▲212	*	51	▲130	▲103	▲117	▲112	▲*	▲380	▲384	▲356	▲28	156
前年同期比	▲7.0	0.1	16.1	▲24.2	▲26.8	▲9.9	▲11.0	0.0	▲6.3	▲6.4	▲6.8	▲3.8	1.5

（出所）日本自動車工業会、ウォード自動車情報社
（注）四輪車生産台数の累計値は年初から最新月までの合計である。

＜産業機械＞

○11 月の受注は前年同月比 14.2%増と 3 ヵ月連続の増加

・ 官公需(12.0%減・3 ヵ月ぶり)が減少したものの、民需(13.1%増・3 ヵ月連続)、外需(16.7%増・2 ヵ月ぶり)が増加した。外需では、建設機械(4.8%減・6 ヵ月連続)、農林機械(11.8%減・6 ヵ月連続)が減少した一方、原動機(81.8%増・2 ヵ月連続)、運搬機械(約 2 倍・2 ヵ月ぶり)が増加した。

○11 月の生産用機械工業の生産は前年同月比 2.8%増と 2 ヵ月連続の上昇。また、汎用・業務用機械工業の生産は同 2.9%減と 11 ヵ月連続の低下。

・ 生産用機械工業の生産を機種別にみると、農業用機械(28.0%減・10 ヵ月連続)、建設・鉱山機械(27.4%減・10 ヵ月連続)、化学機械(19.2%減・6 ヵ月ぶり)、金属加工・工作機械(9.2%減・16 ヵ月連続)がいずれも低下したものの、半導体製造装置(41.0%増・2 ヵ月連続)が上昇したことから、全体では前年同月比 2.8%増と 2 ヵ月連続の上昇となった。
・ 汎用・業務用機械工業の生産を機種別にみると、ボイラ・原動機(10.9%減・6 ヵ月連続)、運搬装置(4.2%減・2 ヵ月連続)、冷凍機・温湿調整装置(4.5%減・5 ヵ月ぶり)がいずれも低下したことから、全体では前年同月比 2.9%減と 11 ヵ月連続の低下となった。

＜電気機械＞

○11 月の生産は、前年同月比 0.5%減と 5 ヵ月ぶりの低下

・ 重電機は、前年同月比 4.1%減と 4 ヵ月連続の低下となった。品目別には、開閉制御装置(4.3%増、3 ヵ月連続)が上昇したものの、回転電機(6.6%減、4 ヵ月連続)、静止電機(15.7%減・9 ヵ月連続)が低下した。
・ 家庭用電気機器は、民生用電子(0.6%増・3 ヵ月連続)が上昇したものの、民生用電機(1.3%減・5 ヵ月ぶり)が低下したことから、全体では前年同月比 0.5%減と 5 ヵ月ぶりの低下となった。

＜造　船＞11 月の手持工事量は前月末比 1.1%減の 2,967 万 G/T と 2 ヵ月ぶりの減少

○11 月の起工量は前年同月比 23.7%減の 66.7 万 G/T と 4 ヵ月ぶりの減少となった。
○11 月の輸出船契約量は前年同月比 74.4%減の 23.6 万 G/T と 3 ヵ月連続の減少となった。
○11 月末の手持工事量は前月末比 1.1%減の 2,967 万 G/T と 2 ヵ月ぶりの減少となった。

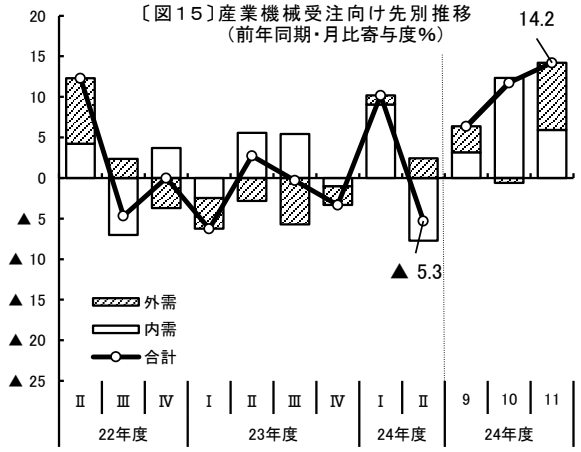
〔表４〕　産　業　機　械　活　動　水　準

（単位:億円、IIP＜20年＝100＞、%）

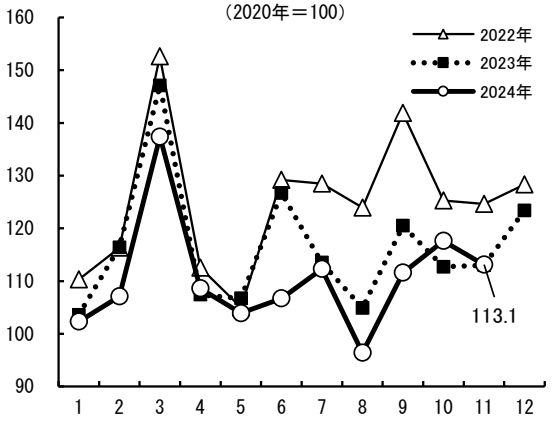
	受注額				IIP								
					生産用					汎用・業務用			
	合計	民需	官公需	外需	機械工業	農業用機械	建設・鉱山機械	化学機械	金属加工工作機械	機械工業	ボイラ・原動機	運搬装置	冷凍機・温湿調整装置
2022年度	141,625	57,065	8,376	71,068	132.7	108.4	126.6	103.3	142.8	114.5	119.9	101.8	111.9
2023年度	139,087	58,829	9,175	65,946	119.0	92.2	131.1	91.3	131.8	110.0	108.4	108.3	109.4
2023年 7- 9月	36,547	16,044	2,554	16,663	116.7	95.9	132.7	84.4	136.4	109.0	109.7	98.2	105.7
10-12月	33,778	14,213	1,874	16,307	117.7	80.7	135.3	96.0	133.5	114.9	124.7	118.0	116.1
2024年 1- 3月	36,118	15,459	2,776	16,638	122.7	88.2	123.5	97.8	119.2	108.1	102.4	122.6	108.0
4- 6月	35,973	15,600	2,348	16,714	113.2	78.7	117.8	85.1	106.3	99.2	84.3	81.2	113.7
7- 9月	34,615	13,112	2,532	17,554	111.1	63.5	102.5	103.1	112.2	102.2	93.9	89.1	110.0
2024年 9月	13,718	5,026	1,504	6,699	114.3	62.9	103.4	117.7	121.1	108.9	98.8	107.3	118.5
10月	11,648	5,506	532	5,184	126.9	60.8	116.5	111.3	119.4	107.8	89.7	85.9	122.0
11月	10,952	4,285	520	5,557	119.3	56.7	99.5	79.0	120.9	106.5	91.6	92.5	117.1
2022年度	4.4	1.9	4.9	6.7	6.4	▲10.8	1.4	16.3	15.6	1.4	7.2	▲2.1	▲0.7
2023年度	▲1.8	3.1	9.5	▲7.2	▲10.3	▲15.0	3.5	▲11.6	▲7.7	▲3.9	▲9.6	6.4	▲2.2
2023年 7- 9月	2.7	12.3	12.2	▲5.7	▲18.8	▲20.7	6.5	▲34.2	▲5.6	▲8.0	▲20.8	▲10.1	▲8.8
10-12月	▲0.3	13.2	8.1	▲10.6	▲12.7	▲26.8	▲5.3	▲9.4	▲7.2	▲1.6	10.9	8.8	2.2
2024年 1- 3月	▲3.3	▲4.4	10.6	▲4.9	▲5.4	▲8.4	▲5.0	1.6	▲21.0	▲5.6	▲11.5	11.0	1.6
4- 6月	10.2	19.0	19.1	2.3	▲4.7	▲24.2	▲11.4	▲1.9	▲23.0	▲8.2	▲12.9	▲14.0	5.3
7- 9月	▲5.3	▲18.3	▲0.9	5.3	▲4.8	▲33.8	▲22.7	22.1	▲17.7	▲6.2	▲14.4	▲9.2	4.1
2024年 9月	6.4	0.9	28.0	6.5	▲7.6	▲34.5	▲25.3	19.7	▲16.5	▲7.0	▲25.8	5.6	3.5
10月	11.7	29.9	12.7	▲1.2	16.7	▲29.5	▲16.6	21.2	▲3.8	▲7.9	▲35.6	▲30.7	0.9
11月	14.2	13.1	▲12.0	16.7	2.8	▲28.0	▲27.4	▲19.2	▲9.2	▲2.9	▲10.9	▲4.2	▲4.5
4月からの累計	93,189	38,503	5,931	45,009	114.9	68.0	109.6	94.4	112.0	102.3	89.5	86.2	113.8
前年同期	89,205	37,185	5,589	43,008	116.4	95.5	134.2	87.9	135.1	109.8	107.7	99.8	110.6
増減量	3,983	1,318	343	2,001	－	－	－	－	－	－	－	－	－
前年同期比	4.5	3.5	6.1	4.7	▲1.3	▲28.8	▲18.3	7.4	▲17.1	▲6.8	▲16.9	▲13.6	2.9

（出所）経済産業省、内閣府
（注）受注額は内閣府「機械受注実績」の原動機＋産業機械＋工作機械。

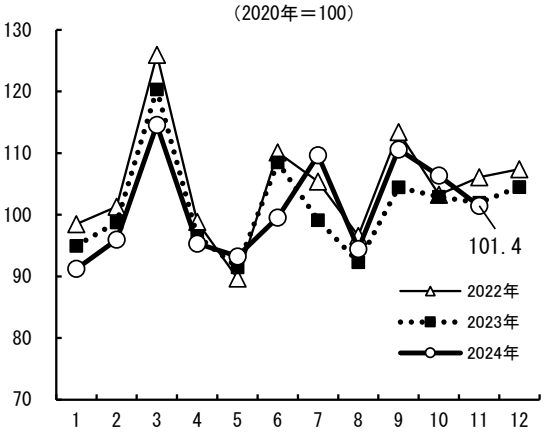
〔図１５〕産業機械受注向け先別推移
（前年同期･月比寄与度%）



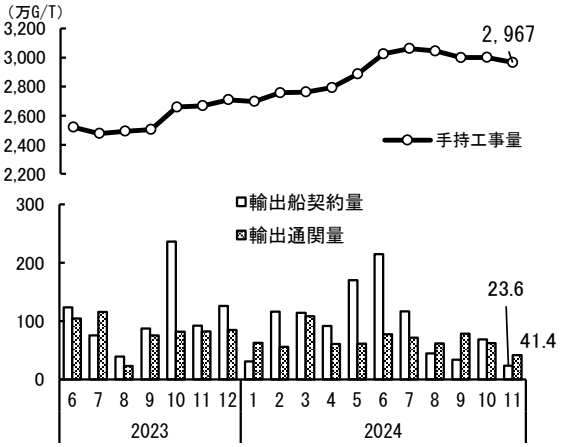
〔図１６〕汎用・生産用・業務用機械生産指数
（2020年＝100）



〔図１７〕電気機械生産指数
（2020年＝100）



〔図１８〕造船輸出船契約・通関・手持工事量



〔表５〕　電　気　機　械　、　造　船　活　動　水　準

（単位:IIP＜20年＝100＞･%、千G/T、%）

	I I P							造船				
	電気機械	重電機	家庭用電気機器	民生用電機	民生用電子	通信機械	電子部品	起工量	竣工量	輸出船契約量	輸出通関実績	手持ち工事量
2022年度	103.7	107.6	97.2	99.1	94.1	87.9	79.3	8,784	9,093	13,326	8,382	24,713
2023年度	100.3	102.3	96.3	90.4	106.4	75.0	80.1	8,544	9,533	11,699	8,877	27,629
2023年 7- 9月	98.6	100.3	87.6	76.2	106.7	67.7	86.0	2,172	2,280	2,017	2,139	25,051
10-12月	103.1	104.6	96.4	87.6	111.2	68.8	84.1	2,427	2,677	4,547	2,488	27,094
2024年 1- 3月	100.6	103.8	92.3	86.2	102.4	93.8	74.8	1,930	2,614	2,609	2,264	27,629
4- 6月	96.1	90.3	101.2	101.1	101.3	46.2	77.2	2,426	2,174	4,766	1,988	30,253
7- 9月	104.9	96.0	93.1	85.5	105.9	65.5	84.5	2,276	2,176	1,949	2,114	30,000
2024年 9月	110.6	108.7	92.0	79.1	113.7	65.0	87.3	980	787	338	782	30,000
10月	106.4	99.2	103.1	90.3	124.5	61.1	82.3	783	695	687	624	30,009
11月	101.4	98.1	97.7	88.3	113.5	58.3	78.2	667	478	236	414	29,666
2022年度	▲3.3	2.2	4.6	5.2	3.7	▲3.0	▲25.8	0.7	▲7.9	▲9.1	▲9.4	*23.7*
2023年度	▲3.3	▲4.9	▲0.9	▲8.8	13.1	▲14.7	1.1	▲2.7	4.8	▲12.2	5.9	*11.8*
2023年 7- 9月	▲6.2	▲6.0	▲11.3	▲25.9	16.5	▲18.4	▲1.5	17.1	1.0	2.8	▲15.4	*◢0.6*
10-12月	▲2.3	▲4.6	▲0.6	▲7.8	10.8	▲20.7	9.3	18.9	33.3	93.6	48.5	*8.2*
2024年 1- 3月	▲3.9	▲10.8	▲5.6	▲7.6	▲2.7	▲13.9	21.2	▲22.6	▲1.1	▲10.2	▲8.2	*2.0*
4- 6月	▲2.8	▲10.0	▲7.3	▲9.3	▲3.7	▲33.7	2.1	20.4	10.8	88.6	0.1	*9.5*
7- 9月	6.4	▲4.3	6.3	12.1	▲0.8	▲3.3	▲1.8	4.8	▲4.5	▲3.4	▲1.2	*◢0.8*
2024年 9月	5.9	▲5.1	9.7	18.2	1.2	▲26.8	▲4.2	39.8	14.0	▲61.3	3.9	*◢1.5*
10月	3.3	▲4.6	11.2	10.4	12.2	▲11.9	▲4.3	16.5	▲20.7	▲70.9	▲23.7	*0.0*
11月	▲0.5	▲4.1	▲0.5	▲1.3	0.6	▲8.4	▲6.1	▲23.7	▲31.3	▲74.4	▲49.6	*◢1.1*
4月からの累計	101.3	94.5	97.9	92.3	107.5	56.8	80.7	6,152	5,523	7,638	5,140	－
前年同期	99.7	101.0	97.6	91.8	107.4	68.1	81.8	5,732	5,813	7,832	5,764	－
増減量	－	－	－	－	－	－	－	420	▲290	▲193	▲624	－
前年同期比	1.7	▲6.5	0.3	0.6	0.0	▲16.6	▲1.3	7.3	▲5.0	▲2.5	▲10.8	－

（出所）経済産業省、国土交通省、日本船舶輸出組合
（注）1.電気機械工業IIPは、電子部品・デバイス工業＋電気・情報通信機械工業を加重平均したもの。
2.民生用電機IIPは、家事用機器＋空調・住宅関連機器を加重平均したもの。
3.造船起工量、竣工量は速報で主要工場ベース。
4.手持ち工事量は前月（期）末比増減率。

3．鋼材受注

－11 月の普通鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比 8.2%減の 272 万トンと 6 ヵ月連続の減少－

○11 月の普通鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比 8.2%減の 272 万トンと 6 ヵ月連続の減少

・ 建設用(8.8%減)は、土木(4.6%減・4 ヵ月連続)、建築(11.8%減・6 ヵ月連続)、その他建設(4.1%減・4 ヵ月連続)がいずれも減少したことから、全体では 6 ヵ月連続の減少となった。

※その他建設用：建築金物、建築用付属資材(配管・配線用、サッシ、シャッター等)、仮設材(足場鋼管、メタルフォーム等)など。

・ 製造業用(5.2%減)は、電機(0.2%増・4 ヵ月ぶり)が増加したものの、ウェイトが高い自動車(6.8%減・11 ヵ月連続)のほか、造船(5.7%減、2 ヵ月連続)、産機(17.9%減・30 ヵ月連続)が減少したことから、全体では 11 ヵ月連続の減少となった。

・ 建設向けのウェイトが高い販売業者向け(11.4%減)は 4 ヵ月連続の減少となった。

・ 内需全体(8.2%減)では 6 ヵ月連続の減少となった。

・ 輸出向け(2.0%減)は 3 ヵ月ぶりの減少となった。

○11 月の特殊鋼鋼材受注(内需計)は、前年同月比 2.4%減の 84 万トンと 10 ヵ月連続の減少

・ 製造業用(2.5%減)は、産機(3.8%減・2 ヵ月ぶり)、自動車(3.5%減・8 ヵ月連続)、次工程(2.8%減・3 ヵ月ぶり)がいずれも減少したことから、全体では 10 ヵ月連続の減少となった。

・ 内需全体(2.4%減)は 10 ヵ月連続の減少となった。

・ 輸出向け(11.6%減)は 5 ヵ月連続の減少となった。

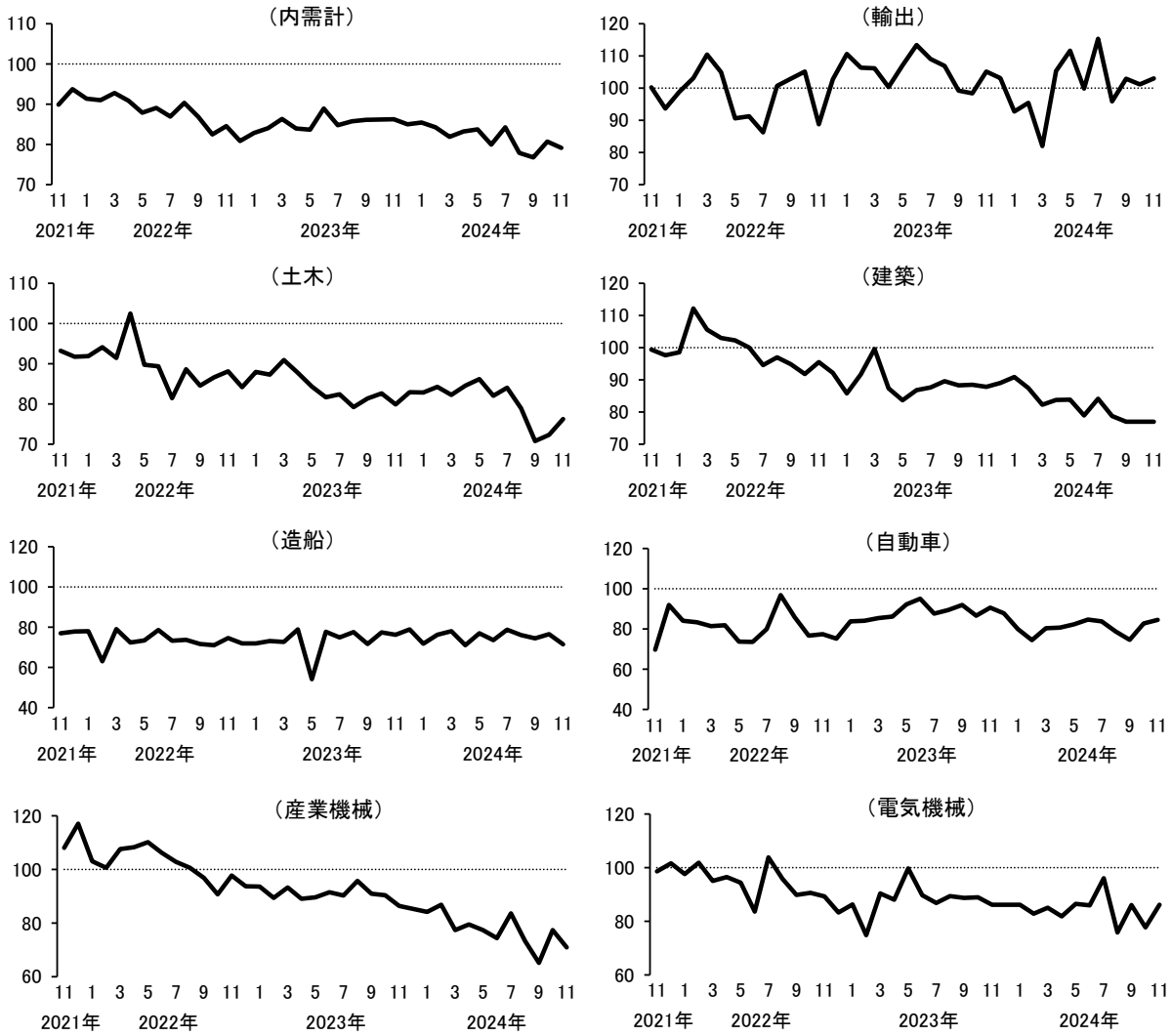
〔表６〕鋼 材 受 注 総 括 表

（単位：千トン，%）

	普通鋼鋼材											
	建設計				製造業計					販売業者	内需計	輸出
		土 木	建 築	その他建設		造 船	自動車	産 機	電 機			
2022年度	9,463	1,887	5,662	1,914	14,747	2,834	6,789	1,389	1,338	11,097	35,307	21,782
2023年度	8,757	1,764	5,164	1,829	14,946	2,888	7,234	1,242	1,313	11,246	34,949	22,023
2023年 7- 9月	2,146	432	1,273	441	3,906	711	1,976	322	323	2,645	8,697	5,578
10-12月	2,256	442	1,342	471	3,853	771	1,849	320	333	2,916	9,025	5,636
2024年 1- 3月	2,159	439	1,263	457	3,550	736	1,650	279	315	2,870	8,579	4,935
4- 6月	2,129	450	1,229	450	3,461	702	1,600	277	314	2,753	8,343	5,826
7- 9月	1,996	413	1,149	435	3,603	726	1,743	258	314	2,492	8,091	5,554
2024年 9月	651	136	370	145	1,165	223	565	78	105	834	2,650	1,694
10月	696	141	406	148	1,200	240	582	99	92	927	2,823	1,893
11月	675	131	394	150	1,170	215	561	81	117	878	2,723	1,825
2022年度	▲9.7	▲8.0	▲6.4	▲19.6	▲6.3	3.0	▲4.2	▲10.7	▲11.9	▲8.2	▲7.8	▲3.0
2023年度	▲7.5	▲6.5	▲8.8	▲4.4	1.4	1.9	6.6	▲10.6	▲1.9	1.3	▲1.0	1.1
2023年 7- 9月	▲7.8	▲4.7	▲7.6	▲11.2	▲1.1	2.3	2.6	▲7.5	▲8.1	▲1.5	▲3.0	9.1
10-12月	▲4.0	▲5.5	▲5.0	0.5	7.2	7.6	14.7	▲7.0	▲1.0	5.8	3.7	3.1
2024年 1- 3月	▲4.3	▲6.3	▲6.6	4.7	▲2.8	4.1	▲7.4	▲10.6	0.9	5.0	▲0.7	▲16.7
4- 6月	▲3.1	▲0.1	▲4.5	▲2.1	▲4.8	4.8	▲9.0	▲14.0	▲8.2	▲2.2	▲3.5	▲0.8
7- 9月	▲7.0	▲4.5	▲9.8	▲1.5	▲7.8	2.2	▲11.8	▲19.8	▲2.8	▲5.8	▲7.0	▲0.4
2024年 9月	▲11.3	▲13.6	▲13.4	▲3.2	▲11.6	2.6	▲18.8	▲28.5	▲3.2	▲9.6	▲10.9	3.2
10月	▲11.6	▲12.7	▲13.0	▲6.2	▲5.0	▲0.9	▲5.5	▲14.8	▲13.1	▲4.8	▲6.6	3.1
11月	▲8.8	▲4.6	▲11.8	▲4.1	▲5.2	▲5.7	▲6.8	▲17.9	0.2	▲11.4	▲8.2	▲2.0
4月からの累計	5,496	1,136	3,178	1,183	9,434	1,883	4,486	714	837	7,050	21,980	15,098
前年同期	5,871	1,182	3,473	1,215	10,040	1,851	4,953	858	888	7,423	23,333	15,152
増 減 量	▲374	▲47	▲295	▲32	▲606	32	▲467	▲144	▲51	▲373	▲1,353	▲55
前年同期比	▲6.4	▲3.9	▲8.5	▲2.7	▲6.0	1.7	▲9.4	▲16.8	▲5.7	▲5.0	▲5.8	▲0.4

（出所）日本鉄鋼連盟

〔図１９〕 普通鋼鋼材受注推移（季節調整済指数、2019 年＝100）



〔表６〕鋼 材 受 注 総 括 表 （続）

（単位：千トン，％）

	特殊鋼製造業計				鋼材 販売業者	鋼材 内需計	鋼材 輸出	鋼材合計 内需計	鋼材合計 輸出計
		産機	自動車	次工程					
2022年度	8,986	1,434	3,818	3,269	896	10,177	4,348	45,483	26,130
2023年度	9,163	1,245	4,274	3,234	795	10,247	3,997	45,197	26,021
2023年 7- 9月	2,400	320	1,154	826	185	2,656	1,059	11,352	6,638
10-12月	2,334	302	1,114	819	197	2,609	986	11,634	6,622
2024年 1- 3月	2,149	294	979	771	207	2,430	947	11,009	5,882
4- 6月	2,180	302	984	783	211	2,465	966	10,808	6,792
7- 9月	2,206	313	1,000	778	203	2,484	966	10,574	6,520
2024年 9月	736	105	333	259	68	824	337	3,474	2,031
10月	759	104	340	278	69	852	336	3,674	2,228
11月	752	94	354	265	69	843	294	3,566	2,119
2022年度	▲13.1	▲11.6	▲11.8	▲15.3	▲19.1	▲13.8	▲8.3	▲9.2	▲3.9
2023年度	2.0	▲13.2	11.9	▲1.1	▲11.3	0.7	▲8.1	▲0.6	▲0.4
2023年 7- 9月	4.9	▲10.5	15.1	1.1	▲14.3	3.0	▲0.0	▲1.6	7.6
10-12月	6.6	▲12.8	19.7	1.8	▲8.1	5.3	▲8.7	4.1	1.1
2024年 1- 3月	▲3.3	▲19.2	1.7	▲2.3	▲0.6	▲2.8	▲9.3	▲1.2	▲15.6
4- 6月	▲4.3	▲8.3	▲4.2	▲4.3	2.4	▲3.4	▲3.9	▲3.5	▲1.3
7- 9月	▲8.1	▲2.0	▲13.3	▲5.9	10.1	▲6.5	▲8.8	▲6.9	▲1.8
2024年 9月	▲8.1	▲2.6	▲16.8	0.1	19.9	▲6.2	▲12.2	▲9.9	0.3
10月	▲2.0	0.1	▲9.9	5.6	5.6	▲1.4	▲0.6	▲5.5	2.5
11月	▲2.5	▲3.8	▲3.5	▲2.8	2.1	▲2.4	▲11.6	▲6.9	▲3.5
4月からの累計	5,896	813	2,678	2,103	552	6,643	2,562	28,623	17,659
前年同期	6,224	850	2,925	2,180	523	6,935	2,734	30,269	17,886
増減量	▲327	▲37	▲247	▲77	29	▲293	▲172	▲1,646	▲227
前年同期比	▲5.3	▲4.4	▲8.4	▲3.5	5.5	▲4.2	▲6.3	▲5.4	▲1.3

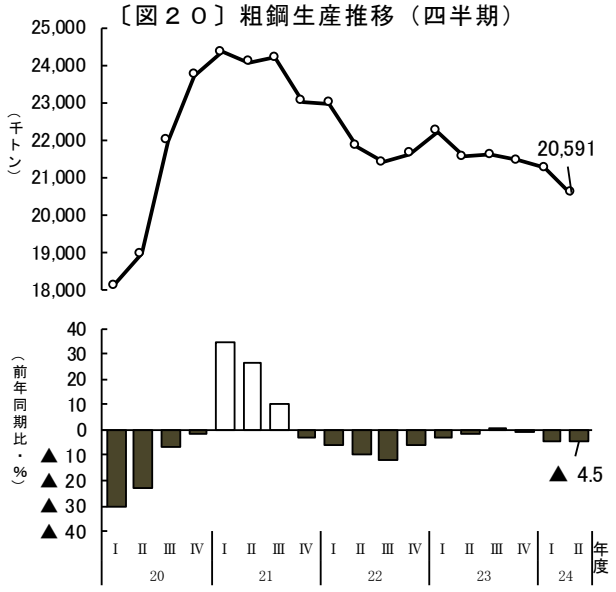
4．鉄鋼需給(生産・出荷・在庫)

ー11 月の粗鋼生産は
前年同月比 3.1%減の 689 万トンと 9 ヵ月連続の減少ー

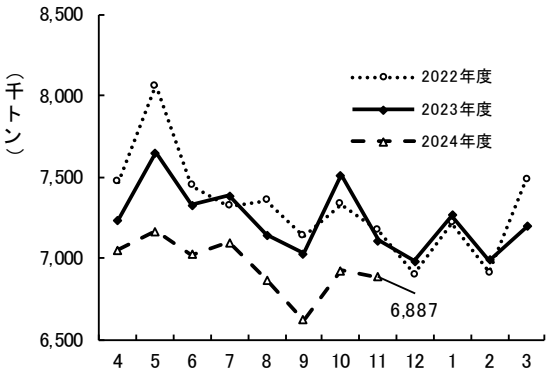
○粗鋼生産・普通鋼鋼材生産、普通鋼鋼材出荷・在庫動向

- 11 月の粗鋼生産は、前年同月比 3.1%減の 689 万トンと 9 ヵ月連続の減少となった。
- 11 月の普通鋼鋼材生産は、前年同月比 5.8%減の 459 万トンと 9 ヵ月連続の減少となった。
- 11 月の普通鋼鋼材国内向け出荷は、前年同月比 6.8%減の 292 万トンと 7 ヵ月連続の減少となった。輸出向け出荷は同 4.1%増の 185 万トンと 2 ヵ月ぶりの増加となった。
- 11 月末の普通鋼鋼材国内向け在庫は、前月末比 15.8 万トン減の 495 万トンと 2 ヵ月連続の減少となった。なお、在庫率は前月末比 6.3 ポイント上昇の 169.5%となった。

〔図２０〕粗鋼生産推移（四半期）



〔図２１〕粗鋼生産推移（月次）



（万トン）	粗鋼		
	需要量見通し	生産計画	実　績
2024年7月～9月	2,151	2,163	2,059
2024年10月～12月	2,130	2,136	
2025年1月～3月	2,093		

〔表７〕鉄 鋼 需 給 総 括 表

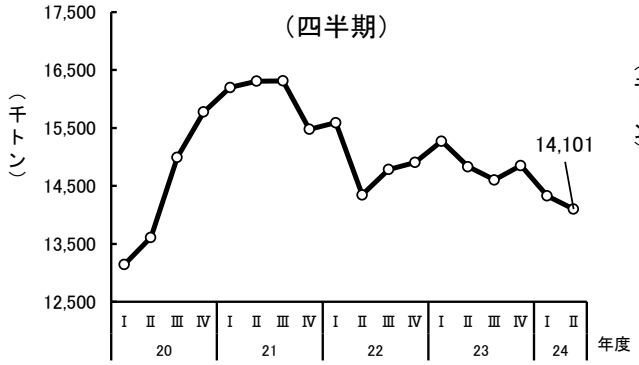
（単位：千トン、%）

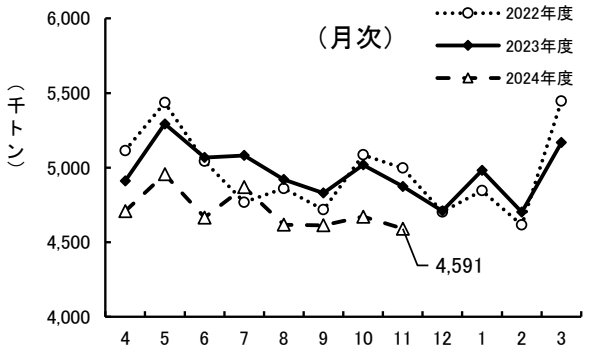
	粗鋼生産			鋼材生産		普通鋼鋼材出荷			普通鋼鋼材在庫		
	合計	転炉鋼	電炉鋼	普通鋼	特殊鋼	計	国 内	輸 出	計	国 内	在庫率
2022年度	87,839	64,326	23,513	59,631	15,334	60,067	38,054	22,013	6,401	5,387	152.9
2023年度	86,828	63,849	22,979	59,559	15,084	59,426	36,717	22,710	6,533	5,445	170.0
2023年 7- 9月	21,557	16,263	5,295	14,831	3,878	15,061	9,141	5,921	6,139	5,176	169.9
10-12月	21,605	15,694	5,911	14,604	3,816	14,670	9,334	5,336	6,073	5,078	163.2
2024年 1- 3月	21,452	15,695	5,757	14,852	3,706	14,392	8,949	5,443	6,533	5,445	182.5
4- 6月	21,246	15,527	5,719	14,329	3,543	14,350	9,026	5,324	6,513	5,298	176.1
7- 9月	20,591	15,326	5,265	14,101	3,651	14,174	8,386	5,788	6,439	5,314	190.1
2024年　9月	6,623	4,794	1,829	4,613	1,267	4,865	2,908	1,957	6,439	5,314	182.7
10月	6,925	5,101	1,824	4,671	1,194	4,817	3,130	1,687	6,293	5,109	163.2
11月	6,887	5,090	1,798	4,591	1,204	4,767	2,921	1,846	6,118	4,951	169.5
2022年度	▲8.2	▲9.6	▲4.0	▲7.3	▲10.9	▲5.1	▲6.0	▲3.5	*▲437*	*▲600*	－
2023年度	▲1.2	▲0.7	▲2.3	▲0.1	▲1.6	▲1.1	▲3.5	3.2	*133*	*58*	－
2023年 7- 9月	▲1.2	1.2	▲8.0	3.4	0.1	4.2	▲3.4	18.7	*▲230*	*▲151*	－
10-12月	0.9	0.9	0.9	▲1.2	▲1.0	▲2.5	▲2.9	▲1.7	*▲66*	*▲97*	－
2024年 1- 3月	▲0.8	▲2.0	2.6	▲0.4	0.6	▲4.6	▲4.9	▲4.2	*460*	*366*	－
4- 6月	▲4.4	▲4.1	▲4.9	▲6.2	▲3.8	▲6.2	▲2.9	▲11.4	*▲20*	*▲146*	－
7- 9月	▲4.5	▲5.8	▲0.6	▲4.9	▲5.9	▲5.9	▲8.3	▲2.2	*▲74*	*16*	－
2024年　9月	▲5.8	▲6.8	▲3.0	▲4.5	▲8.1	▲5.8	▲9.4	0.3	*▲252*	*25*	－
10月	▲7.8	▲6.8	▲10.5	▲6.9	▲5.5	▲3.5	▲2.9	▲4.6	*▲146*	*▲205*	－
11月	▲3.1	▲0.0	▲11.0	▲5.8	▲8.0	▲2.8	▲6.8	4.1	*▲176*	*▲158*	－
4月からの累計	55,650	41,044	14,606	37,692	9,593	38,108	23,463	14,645	－	－	－
前年同期	58,393	43,026	15,367	39,996	10,134	40,262	24,789	15,473	－	－	－
増　減　量	▲2,743	▲1,982	▲761	▲2,304	▲542	▲2,154	▲1,326	▲828	－	－	－
前年同期比	▲4.7	▲4.6	▲5.0	▲5.8	▲5.3	▲5.3	▲5.3	▲5.4	－	－	－

（出所）経済産業省、日本鉄鋼連盟 （注）在庫は前月（期）末比増減量

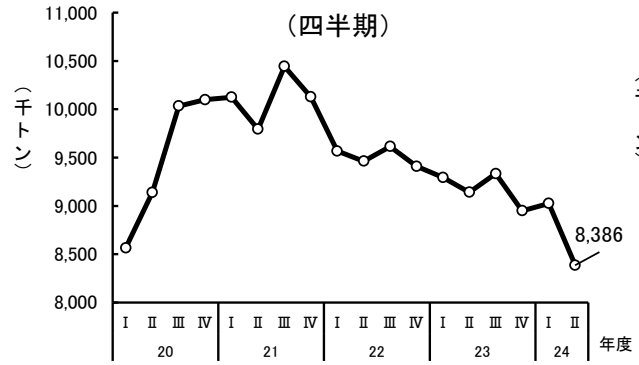
〔図22〕 普通鋼鋼材需給

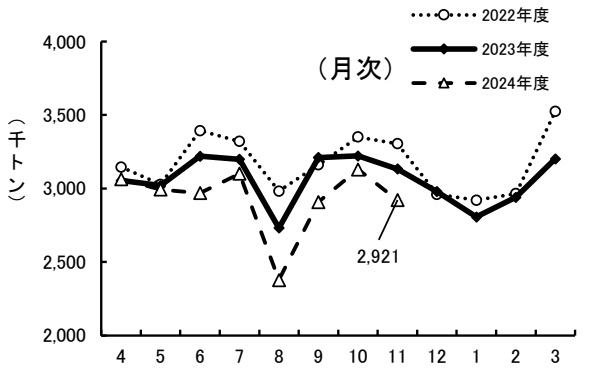
生　産



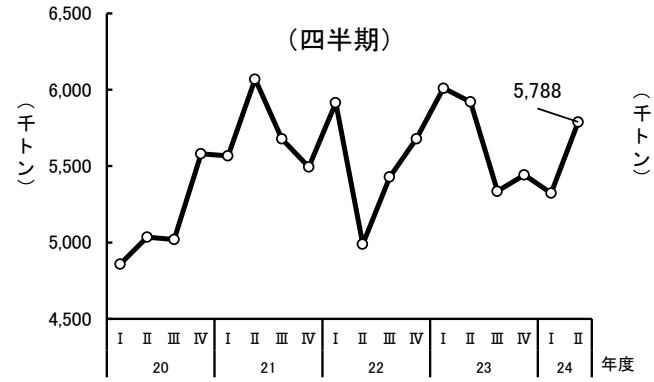


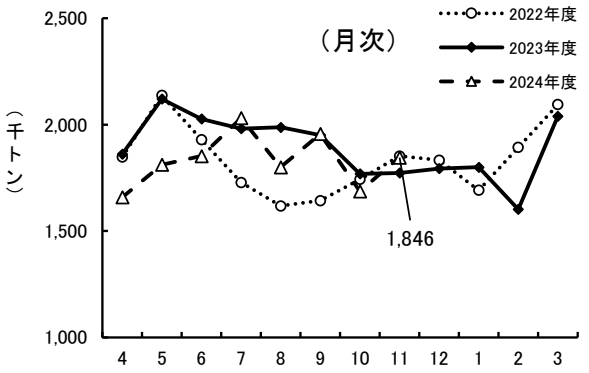
国内向け出荷



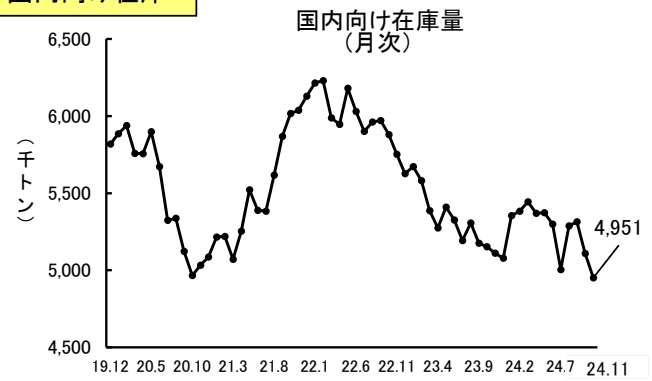


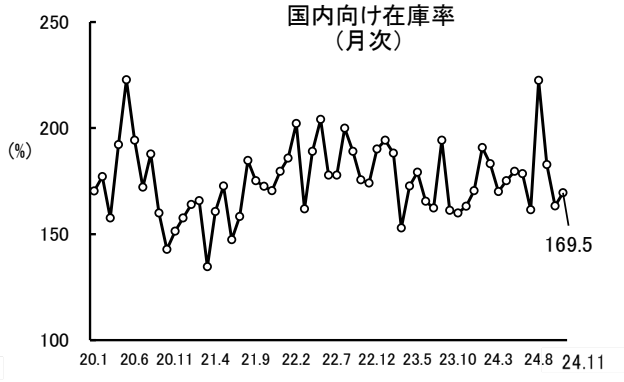
輸出向け出荷





国内向け在庫





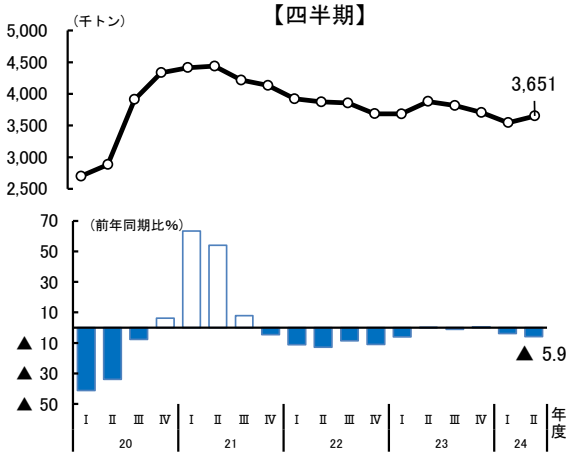
特殊鋼鋼材需給

－10 月の特殊鋼鋼材生産は前年同月比 5.5%減の 119 万トンと 9 ヵ月連続の減少－

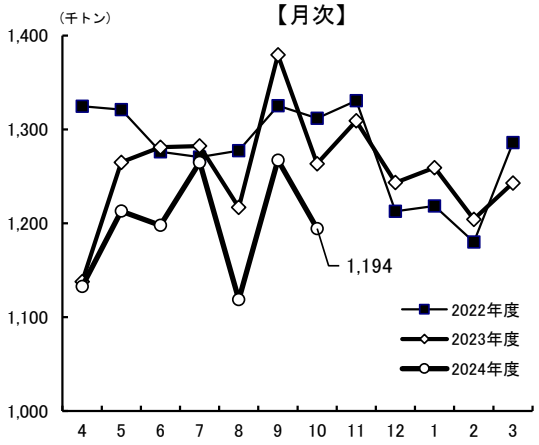
○生産、出荷、在庫動向

- 10 月の特殊鋼鋼材生産は、前年同月比 5.5%減の 119 万トンと 9 ヵ月連続の減少となった。
- 鋼種別には、工具鋼(同 6.5%増)、ばね鋼(同 3.1%増)、ステンレス鋼(同 2.5%増)が増加したものの、機械構造用炭素鋼(同 11.7%減)、構造用合金鋼(同 10.0%減)、高抗張力鋼(同 1.8%減)が減少した。
- 10 月の特殊鋼鋼材出荷は、国内向け(同 1.5%減、91 万トン・10 ヵ月連続)、輸出向け(同 10.8%減、30 万トン・3 ヵ月連続)がともに減少し、合計(同 4.0%減、121 万トン)では 3 ヵ月連続の減少となった。
- 10 月末の特殊鋼鋼材在庫は、前月末比 5.8 万トン減の 168 万トンとなった。なお、在庫率は 2.2 ポイント上昇し 139.1%となった。

〔図２３〕特殊鋼鋼材生産推移



〔図２４〕特殊鋼鋼材生産推移



〔表８〕特殊鋼鋼材需給表

（単位：千トン，%）

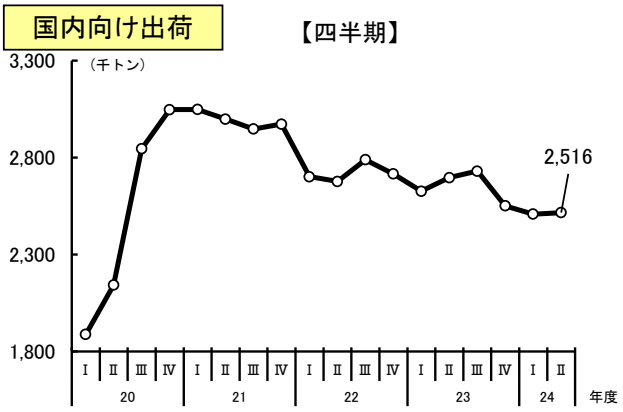
	生産	出荷			在庫		鋼種別生産					
		計	国内	輸出		在庫率	工具鋼	ＳＣ	ＡＬ	ばね鋼	ステンレス	高抗張力鋼
2022年度	15,334	15,263	10,884	4,379	1,728	129.9	155	3,981	3,231	312	2,042	3,956
2023年度	15,084	14,684	10,606	4,078	1,732	135.4	166	3,894	3,176	304	1,823	4,187
2023年 7- 9月	3,878	3,736	2,697	1,039	1,729	138.8	29	994	823	76	465	1,098
10-12月	3,816	3,775	2,730	1,045	1,708	135.7	54	1,022	803	79	451	1,031
2024年 1- 3月	3,706	3,581	2,551	1,030	1,732	145.1	48	935	737	72	447	1,084
4- 6月	3,543	3,442	2,509	933	1,723	150.2	53	890	734	72	463	973
7- 9月	3,651	3,529	2,516	1,012	1,739	147.8	47	925	773	73	467	984
2024年 8月	1,119	993	697	295	1,774	178.7	13	282	233	25	154	294
9月	1,267	1,270	909	361	1,739	136.9	18	329	275	24	159	332
10月	1,194	1,208	906	302	1,681	139.1	18	301	250	26	148	326
2022年度	▲10.9	▲9.1	▲9.1	▲9.0	*◢229*	－	▲20.4	▲14.0	▲9.9	▲13.4	▲8.7	▲5.4
2023年度	▲1.6	▲3.8	▲2.6	▲6.9	*5*	－	6.7	▲2.2	▲1.7	▲2.6	▲10.7	5.8
2023年 7- 9月	0.1	▲1.5	0.7	▲7.0	*20*	－	▲27.6	0.6	1.3	▲1.4	▲13.5	9.0
10-12月	▲1.0	▲2.0	▲2.1	▲1.7	*◢21*	－	37.9	▲0.1	▲3.5	▲2.8	▲13.4	9.2
2024年 1- 3月	0.6	▲3.9	▲6.1	1.9	*25*	－	55.1	▲3.8	▲4.8	▲3.5	▲3.7	10.1
4- 6月	▲3.8	▲4.2	▲4.5	▲3.2	*◢9*	－	54.0	▲5.7	▲9.7	▲6.5	0.4	▲0.1
7- 9月	▲5.9	▲5.6	▲6.7	▲2.6	*15*	－	62.5	▲6.9	▲6.1	▲3.2	0.5	▲10.4
2024年 8月	▲8.1	▲11.2	▲12.6	▲7.7	*87*	－	75.0	▲5.6	▲5.7	20.5	▲1.7	▲19.3
9月	▲8.1	▲6.6	▲6.5	▲7.0	*◢35*	－	46.2	▲8.4	▲8.0	▲11.7	9.7	▲16.1
10月	▲5.5	▲4.0	▲1.5	▲10.8	*◢58*	－	6.5	▲11.7	▲10.0	3.1	2.5	▲1.8
4月からの累計	8,388	8,179	5,931	2,248	－	－	119	2,116	1,757	171	1,078	2,284
前年同期	8,825	8,586	6,244	2,343	－	－	81	2,278	1,914	178	1,070	2,404
増減量	▲437	▲407	▲313	▲95	－	－	38	▲162	▲157	▲7	8	▲120
前年同期比	▲5.0	▲4.7	▲5.0	▲4.0	－	－	46.9	▲7.1	▲8.2	▲3.7	0.7	▲5.0

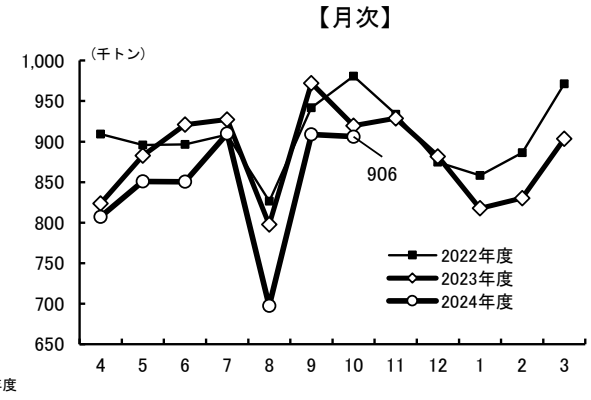
（出所）経済産業省、日本鉄鋼連盟

（注）１．在庫は前月（期）末比増減。
２．生産は最終鋼材生産、出荷・メーカー在庫は外販用鋼材販売在庫調査、在庫はメーカー及び市中在庫合計。
３．ＳＣは機械構造用炭素鋼、ＡＬは構造用合金鋼。
４．生産については、2020年1月より、経済産業省の特殊鋼生産統計(最終鋼材)において鋼管が対象外とされたため、本表では業界自主統計より特殊鋼鋼管生産を加算して最終鋼材生産を算出している。

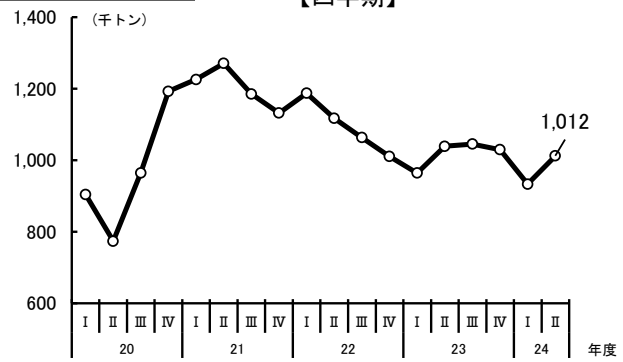
〔図２５〕特殊鋼鋼材需給

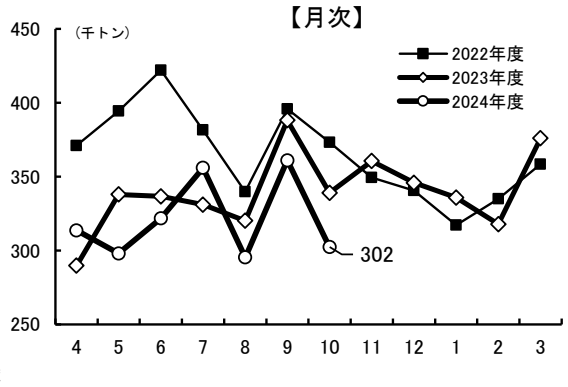
国内向け出荷



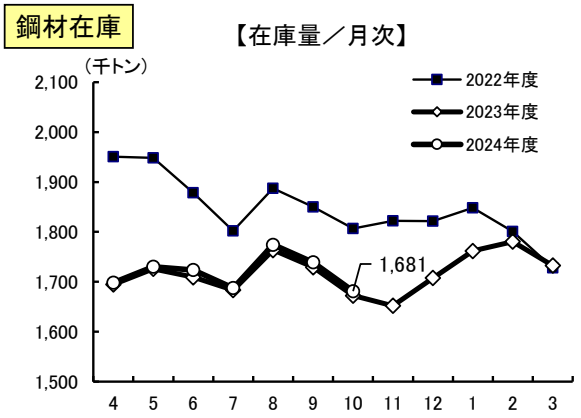


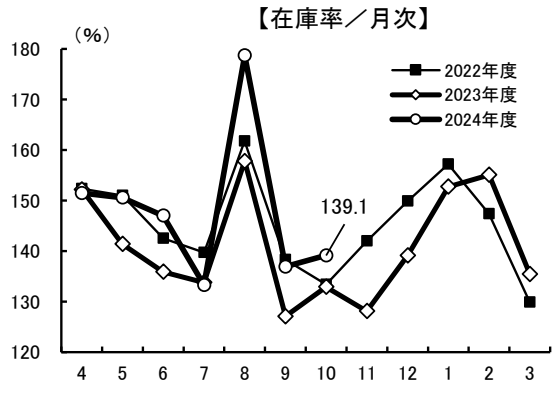
輸出向け出荷



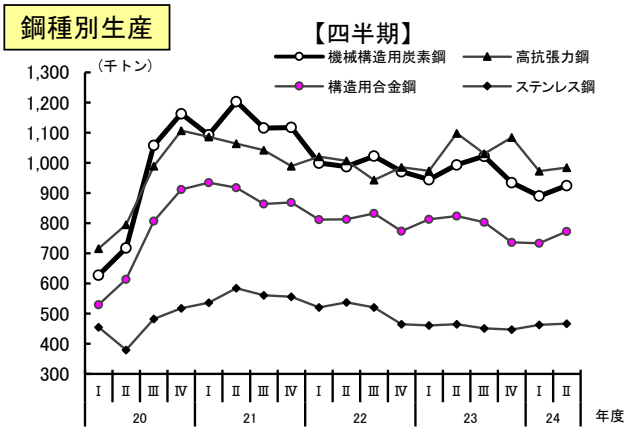


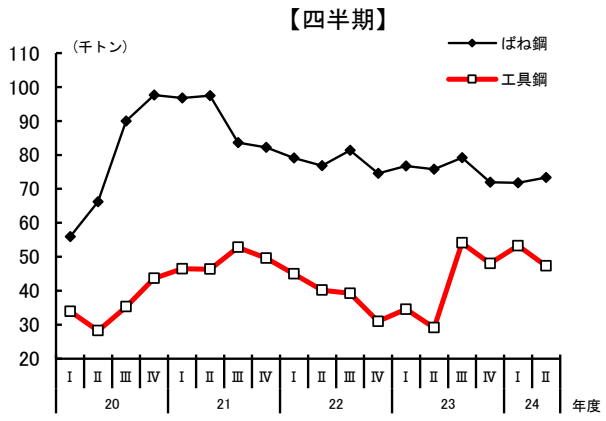
鋼材在庫





鋼種別生産



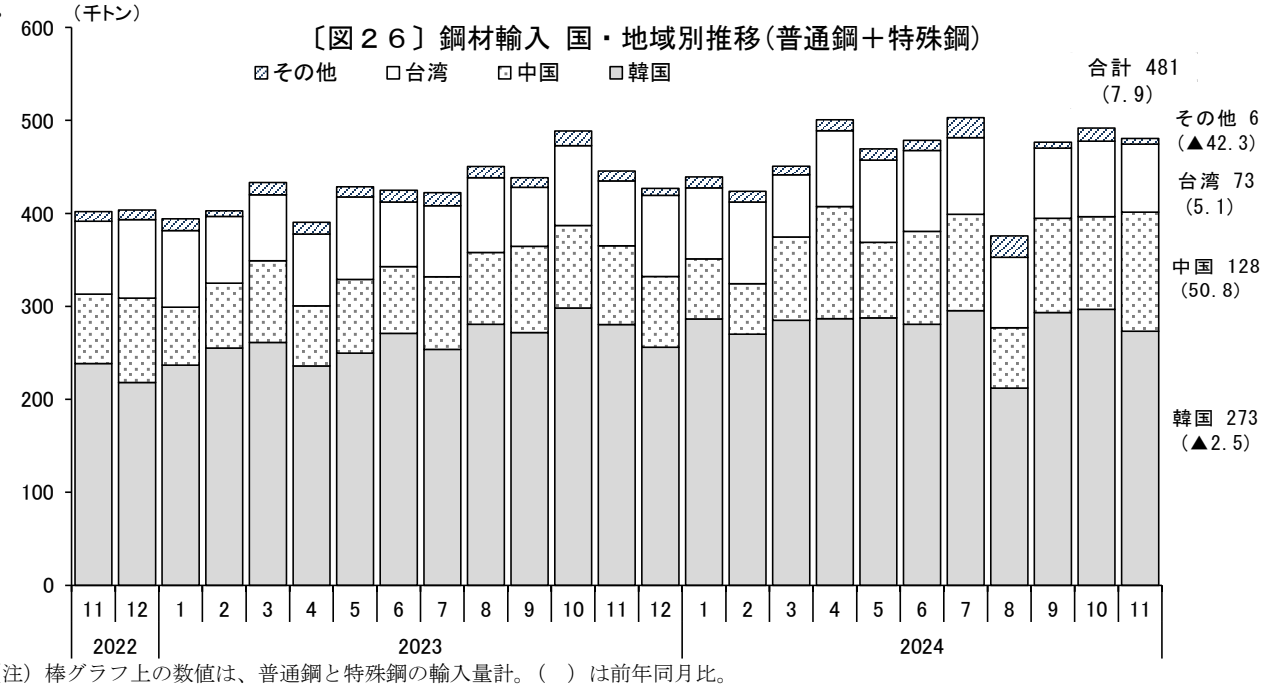


５．鋼材輸入、鋼材流通　**－11 月の鋼材輸入は、前年同月比 7.9%増の 48 万トンと 3ヵ月連続の増加－**

○ 11 月の鋼材輸入の動向

- 11 月の鋼材輸入(普通鋼＋特殊鋼)は、前年同月比 7.9%増の 48 万トンと 3 ヵ月連続の増加となった。国別では、韓国(2.5%減・2 ヵ月連続) が減少したものの、中国(50.8%増・3 ヵ月連続)、台湾(5.1%増・2 ヵ月ぶり)が増加した。
- 鋼種別では、普通鋼(6.9%増)が 2 ヵ月ぶりの増加、特殊鋼(18.1%増)が 11 ヵ月連続の増加となった。特殊鋼のうち、ステンレス鋼(8.2%増・12 ヵ月連続)が増加した。

〔図２６〕鋼材輸入 国・地域別推移(普通鋼＋特殊鋼)



(注) 棒グラフ上の数値は、普通鋼と特殊鋼の輸入量計。( ) は前年同月比。

〔表９〕普 通 鋼 鋼 材 輸 入

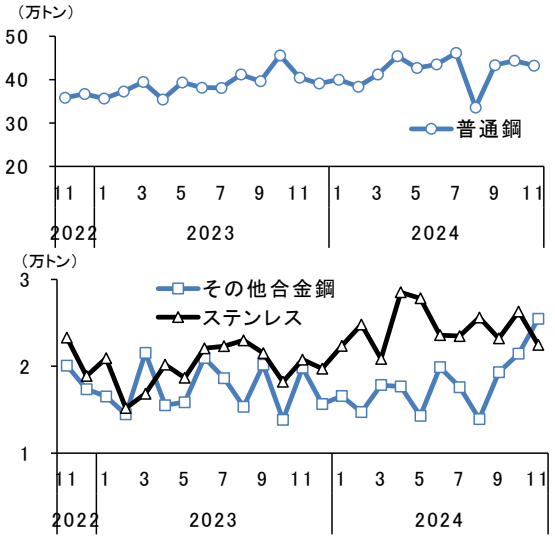
(単位:千トン、%)

	鋼材輸入 合計 (普通鋼+特殊鋼)	普通鋼鋼材輸入							国別			
		合 計	線 材	厚中板	熱延薄板類	冷延薄板類	亜 鉛 めっき鋼板	その他	韓 国	台 湾	中 国	その他
2022年度	4,797	4,314	303	389	1,397	813	991	420	2,672	836	693	113
2023年度	5,230	4,770	248	435	1,459	917	1,240	472	3,016	863	786	105
2023年 7- 9月	1,311	1,190	74	105	360	221	307	123	742	204	217	28
10-12月	1,361	1,253	58	107	384	235	350	120	785	227	215	26
2024年 1- 3月	1,314	1,197	55	115	356	245	312	114	784	214	174	25
4- 6月	1,449	1,317	72	132	405	260	318	131	797	236	257	26
7- 9月	1,355	1,232	67	124	368	222	324	128	748	217	226	41
2024年 9月	476	434	20	41	136	82	111	43	274	71	86	3
10月	492	444	16	67	128	75	106	52	278	73	82	10
11月	481	433	26	48	120	73	108	57	250	68	112	3
2022年度	2.0	3.9	▲4.6	▲6.4	13.8	▲6.6	10.3	0.1	1.7	19.0	20.9	▲54.4
2023年度	9.0	10.6	▲18.3	11.9	4.4	12.7	25.1	12.3	12.9	3.3	13.5	▲7.1
2023年 7- 9月	7.7	9.3	▲28.4	17.6	▲1.3	11.7	29.4	27.7	10.3	9.6	18.5	▲41.1
10-12月	11.9	13.5	7.1	13.4	6.0	11.0	31.9	2.7	19.3	▲2.5	9.9	51.2
2024年 1- 3月	6.8	6.4	▲31.6	2.1	6.9	14.6	11.3	8.5	9.8	3.9	▲4.2	6.0
4- 6月	16.5	16.5	18.9	22.7	12.8	20.0	17.3	12.5	13.1	8.0	42.5	▲1.1
7- 9月	3.4	3.5	▲9.9	17.6	2.3	0.2	5.6	4.0	0.8	6.6	4.5	48.7
2024年 9月	8.7	9.4	▲11.6	▲2.4	21.2	15.8	5.5	0.6	10.3	19.2	4.8	▲51.6
10月	0.7	▲2.7	▲37.9	120.3	▲6.6	▲17.5	▲17.4	19.1	▲2.3	▲9.0	5.2	▲21.8
11月	7.9	6.9	61.9	26.7	▲8.3	11.5	▲2.1	30.7	▲4.5	6.6	56.8	▲63.1
4月からの累計	3,776	3,426	182	370	1,021	629	856	368	2,073	595	677	81
前年同期	3,489	3,182	177	281	987	594	817	326	1,994	567	546	75
増 減 量	287	244	4	89	34	35	39	41	80	28	131	5
前年同期比	8.2	7.7	2.3	31.8	3.5	6.0	4.8	12.6	4.0	4.9	23.9	7.1

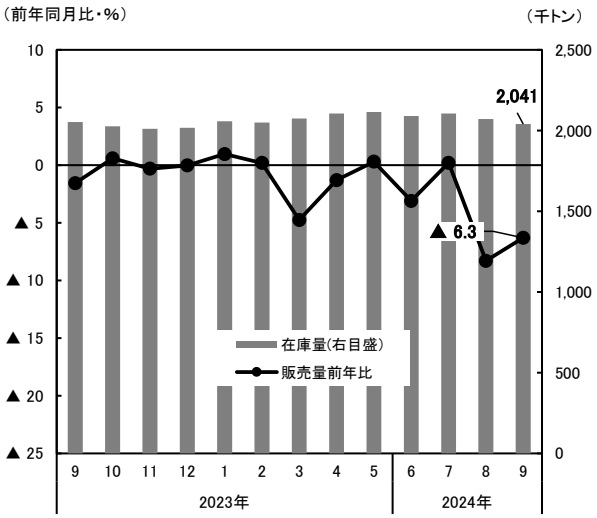
○9 月における鋼材流通の動向

- 市中販売は、前年同月比 6.3%減の 202 万トンと、2 ヵ月連続の減少となった。
- 市中在庫(自社所有分)は、前月末比で 3.1 万トン減少の 204 万トンと 3 ヵ月連続の減少となった。

〔図２７〕　鋼材輸入鋼種別推移



〔図２８〕　市中鋼材数量調査の推移



〔表１０〕特 殊 鋼 鋼 材 輸 入

（単位：千トン、%）

	特殊鋼鋼材輸入										
	合 計	ステンレス	その他合金鋼	線材	鋼板	その他	国別 韓 国	台 湾	中 国	その他
2022年度	483	279	204	57	17	130	182	75	179	46
2023年度	459	254	205	55	13	137	224	66	136	34
2023年 7- 9月	121	67	54	16	5	33	64	16	32	9
10-12月	108	59	49	12	3	35	50	16	35	7
2024年 1- 3月	117	68	49	11	2	36	58	17	34	8
4- 6月	132	80	52	14	5	33	58	21	45	8
7- 9月	123	72	51	14	6	31	53	17	43	10
2024年 9月	43	23	19	5	3	11	19	5	16	3
10月	48	26	21	4	1	17	19	8	17	4
11月	48	22	25	9	5	11	23	5	16	3
2022年度	▲12.6	▲5.3	▲21.0	▲0.2	▲11.1	▲28.4	▲25.4	6.3	▲10.1	22.0
2023年度	▲4.9	▲8.7	0.4	▲3.8	▲22.1	5.2	22.7	▲12.3	▲24.0	▲27.1
2023年 7- 9月	▲6.2	▲16.3	10.1	25.4	19.7	2.9	19.1	▲14.4	▲25.2	▲36.2
10-12月	▲3.6	▲3.2	▲4.1	▲11.0	▲41.5	3.6	43.2	17.9	▲33.1	▲37.1
2024年 1- 3月	11.0	28.5	▲6.5	▲38.2	▲62.2	22.3	45.8	▲12.0	▲9.2	▲8.1
4- 6月	16.3	31.2	▲1.0	▲14.7	44.6	0.6	12.2	25.3	25.5	▲11.6
7- 9月	1.8	8.2	▲6.1	▲9.8	14.5	▲7.5	▲17.2	2.3	37.9	10.4
2024年 9月	2.0	7.8	▲4.3	21.3	12.0	▲15.2	▲17.6	23.9	41.6	▲17.2
10月	49.0	44.4	55.1	5.5	26.1	77.3	35.5	52.4	68.9	36.0
11月	18.1	8.2	28.4	72.3	288.7	▲14.0	26.6	▲10.9	19.8	16.6
4月からの累計	350	201	150	41	17	92	153	51	122	25
前年同期	307	167	140	41	11	89	148	44	91	24
増 減 量	44	34	9	*	6	3	5	7	31	1
前年同期比	14.2	20.6	6.7	0.2	58.7	3.4	3.4	15.2	33.8	5.2

（出所）財務省貿易統計

〔表１１〕
鋼材流通動向

	市中鋼材数量調査	
	販売量	在庫量
2022年度	25,673	2,118
2023年度	25,356	2,075
2023年 7- 9月	6,339	2,053
10-12月	6,473	2,017
2024年 1- 3月	6,208	2,075
4- 6月	6,247	2,122
7- 9月	6,040	2,041
2024年 9月	2,015	2,041
10月	–	–
11月	–	–
2022年度	▲3.9	▲80
2023年度	▲1.2	▲43
2023年 7- 9月	▲2.0	▲48
10-12月	0.1	▲36
2024年 1- 3月	▲1.3	58
4- 6月	▲1.4	47
7- 9月	▲4.7	▲81
2024年 9月	▲6.3	▲31
10月	–	–
11月	–	–
4月からの累計	12,287	–
前年同期	12,675	–
増 減 量	▲388	–
前年同期比	▲3.1	–

（出所）日本鉄鋼連盟

（注）在庫は前月（期）末比

６．鉄鋼輸出

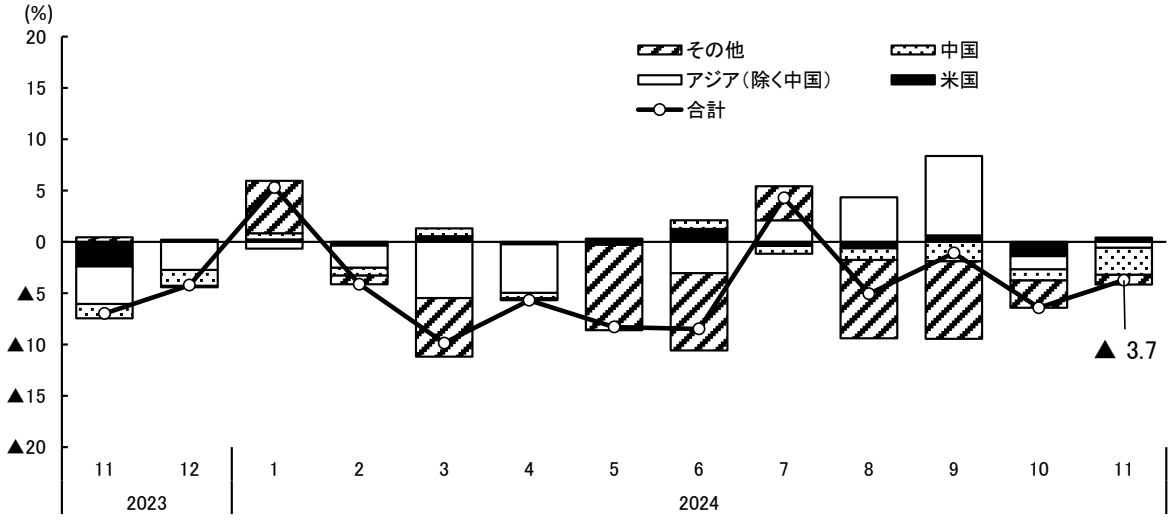
―11月の全鉄鋼輸出は、前年同月比3.7%減の249万トンと4ヵ月連続の減少―

○ 11月の全鉄鋼輸出は、前年同月比3.7%減の249万トンと4ヵ月連続の減少となった。仕向け先別にみると、ASEAN（7.6%増・2ヵ月ぶり）が増加したものの、韓国向け(0.5%減・14ヵ月連続)、中国向け(26.1%減・5ヵ月連続)がいずれも減少した。

○ 11月の普通鋼鋼材輸出は、前年同月比3.0%増の178万トンと4ヵ月ぶりの増加となった。品種別にみると、厚中板(5.7%減)、冷延鋼板類(5.0%減）、亜鉛めっき鋼板(0.6%減)が減少したものの、熱延鋼板類(7.4%増)が増加した。

○ 11月の輸出平均単価は、全鉄鋼ベースで955ドルと2ヵ月連続の低下となった。

〔図29〕全鉄鋼仕向先別輸出推移

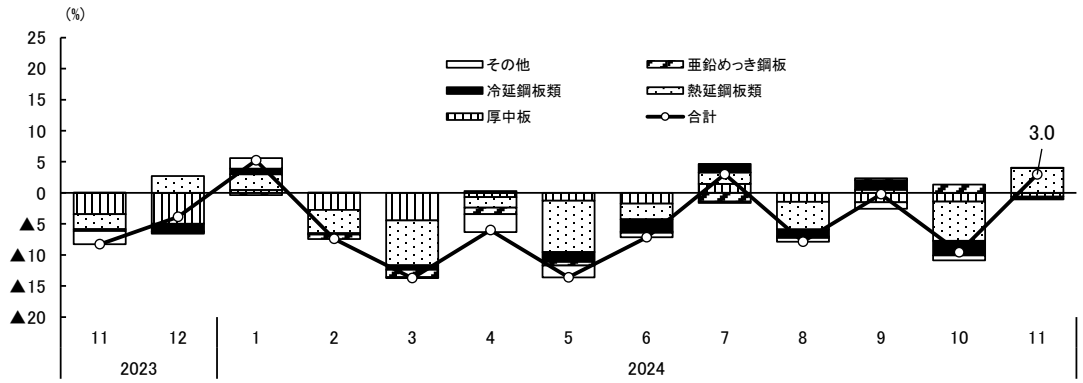


〔表１２〕鉄 鋼 輸 出 総 括 表

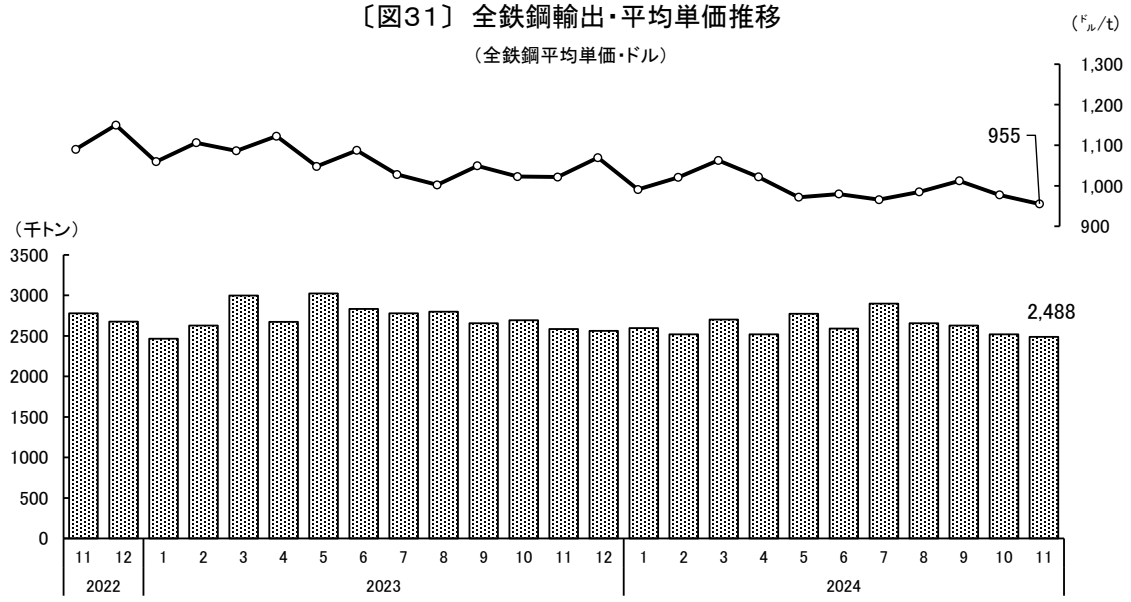
	輸出数量（千トン）				金額（FOB）		平均単価			円／ドル
							ドル		千円	
	全鉄鋼	銑鉄	鋼塊・半製品	鋼材	百万ドル	億円	全鉄鋼	鋼材	鋼材	換算ﾚｰﾄ
2022暦年	32,303	73	3,113	28,345	38,918	50,698	1,204.8	1,200.2	156.4	130.27
2023暦年	32,690	101	3,115	28,810	34,601	48,401	1,058.5	1,057.6	148.0	139.88
2023年 7- 9月	8,232	14	757	7,299	8,447	12,132	1,026.1	1,025.2	147.2	143.63
10-12月	7,840	13	766	6,885	8,134	12,096	1,037.6	1,037.3	154.3	148.70
2024年 1- 3月	7,818	23	773	6,867	8,015	11,814	1,025.2	1,025.3	151.1	147.40
4- 6月	7,883	18	831	6,875	7,808	12,074	990.4	989.3	153.0	154.64
7- 9月	8,181	26	799	7,202	8,074	12,268	986.8	986.8	150.0	151.96
2024年 9月	2,627	4	225	2,347	2,659	3,836	1,012.1	1,011.3	145.9	144.26
10月	2,520	39	262	2,163	2,464	3,597	977.6	985.8	143.9	146.00
11月	2,488	12	184	2,243	2,377	3,634	955.2	956.4	146.2	152.91
2022暦年	▲6.1	84.0	▲14.6	▲4.9	3.5	22.8	10.2	10.4	31.0	18.7
2023暦年	1.2	37.0	0.1	1.6	▲11.1	▲4.5	▲12.1	▲11.9	▲5.4	7.4
2023年 7- 9月	11.0	▲1.9	8.1	11.7	▲7.0	▲2.5	▲16.2	▲16.2	▲12.1	4.8
10-12月	▲1.2	▲48.3	7.8	▲1.6	▲9.5	▲5.9	▲8.4	▲8.2	▲4.5	3.9
2024年 1- 3月	▲3.4	▲55.8	1.6	▲3.4	▲8.7	1.6	▲5.5	▲5.3	5.3	11.2
4- 6月	▲7.5	▲12.0	0.1	▲8.5	▲15.5	▲3.8	▲8.7	▲8.7	4.0	14.0
7- 9月	▲0.6	85.9	5.5	▲1.3	▲4.4	1.1	▲3.8	▲3.7	1.8	5.8
2024年 9月	▲1.1	275.6	▲14.4	0.4	▲4.6	▲6.0	▲3.5	▲3.4	▲4.9	▲1.5
10月	▲6.4	309.7	8.7	▲9.3	▲10.6	▲12.3	▲4.4	▲3.7	▲5.5	▲1.9
11月	▲3.7	276.0	▲33.2	▲0.3	▲10.0	▲8.4	▲6.5	▲6.3	▲4.7	1.7
4月からの累計	21,073	95	2,076	18,483	20,722	31,573	983.3	984.0	149.9	－
前年同期	22,036	47	2,104	19,451	23,086	32,748	1,047.7	1,047.0	148.5	－
増減量	▲963	48	▲28	▲968	▲2,364	▲1,175	▲64.3	▲63.0	1.4	－
前年同期比	▲4.4	100.5	▲1.3	▲5.0	▲10.2	▲3.6	▲6.1	▲6.0	1.0	－

（出所）財務省貿易統計 （注）平均単価欄の鋼材は全鉄鋼から銑鉄、ﾌｪﾛｱﾛｲを除いたベース。

〔図30〕 普通鋼鋼材品種別輸出推移(前年同月比寄与度・%)



〔図31〕 全鉄鋼輸出・平均単価推移



〔表１３〕国別品種別輸出推移

(単位：千トン，%)

	全鉄鋼計									普通鋼鋼材計				
	アジア	韓国	中国	ASEAN10	台湾	インド	EU	米国	メキシコ		厚中板	熱延鋼板類	冷延鋼板類	亜鉛めっき鋼板
2022暦年	24,308	5,431	3,949	10,898	1,809	848	1,741	1,268	1,244	21,404	2,936	10,870	1,681	2,043
2023暦年	22,800	5,637	2,849	10,549	1,585	1,175	2,047	1,229	1,860	22,642	2,975	12,323	1,567	2,147
2023年 7-9月	5,630	1,309	703	2,679	392	300	546	332	413	5,761	783	3,168	386	542
10-12月	5,617	1,256	745	2,557	372	384	399	298	406	5,339	636	2,885	387	508
2024年 1-3月	5,563	1,354	688	2,377	416	531	326	325	508	5,277	649	2,811	385	508
4-6月	5,577	1,101	744	2,464	493	515	442	306	396	5,392	698	3,027	339	507
7-9月	5,913	1,099	600	2,868	457	588	445	321	498	5,655	753	3,123	417	515
2024年 9月	1,924	337	180	968	148	221	117	147	174	1,814	245	955	145	169
10月	1,884	401	219	902	130	144	58	70	169	1,697	235	871	118	184
11月	1,809	420	193	884	108	118	27	82	136	1,781	181	1,006	124	165
2022暦年	▲9.2	10.9	▲22.9	▲10.0	▲22.7	11.9	73.6	7.6	▲36.0	▲3.3	9.7	1.6	▲20.5	▲20.0
2023暦年	▲6.2	3.8	▲27.9	▲3.2	▲12.4	38.6	17.6	▲3.1	49.5	5.8	1.4	13.4	▲6.8	5.1
2023年 7-9月	▲2.0	15.0	▲25.2	▲0.6	▲3.5	52.3	86.1	18.4	41.4	18.3	8.4	31.8	▲3.1	14.6
10-12月	▲4.4	▲10.4	▲14.2	▲3.3	▲3.5	8.0	▲24.1	▲8.6	36.8	0.4	▲17.8	6.4	8.9	▲1.9
2024年 1-3月	▲3.8	▲14.9	2.6	▲11.9	4.0	119.5	▲23.5	4.0	26.0	▲5.9	▲17.2	▲5.9	▲0.8	▲8.0
4-6月	▲3.4	▲25.7	1.7	▲5.8	17.2	106.9	▲34.6	7.2	▲37.9	▲9.1	▲9.6	▲7.8	▲16.4	▲6.8
7-9月	5.0	▲16.0	▲14.6	7.1	16.7	95.8	▲18.6	▲3.6	20.7	▲1.8	▲3.8	▲1.4	7.8	▲5.0
2024年 9月	8.8	▲19.6	▲21.8	19.3	6.1	177.3	▲51.2	12.9	46.0	▲0.2	▲10.1	1.0	23.4	3.4
10月	▲3.3	▲8.0	▲11.7	▲0.2	▲1.1	15.2	▲55.3	▲34.8	19.6	▲9.6	▲10.1	▲12.0	▲27.0	15.6
11月	▲4.4	▲0.5	▲26.1	7.6	▲4.6	▲16.2	▲72.8	16.0	▲2.2	3.0	▲5.7	7.4	▲5.0	▲0.6
4月からの累計	15,183	3,022	1,756	7,119	1,188	1,364	971	779	1,200	14,525	1,867	8,026	998	1,371
前年同期	15,241	3,649	1,943	7,020	1,057	814	1,451	796	1,332	15,300	2,008	8,377	1,084	1,412
増減量	▲58	▲627	▲188	99	131	550	▲479	▲17	▲132	▲775	▲141	▲351	▲86	▲40
前年同期比	▲0.4	▲17.2	▲9.7	1.4	12.4	67.5	▲33.0	▲2.2	▲9.9	▲5.1	▲7.0	▲4.2	▲8.0	▲2.8

（出所）財務省貿易統計

（注）アジアは中東を除く。

海外市場　－11月の粗鋼生産（世界計）は前年同月比0.8%増－

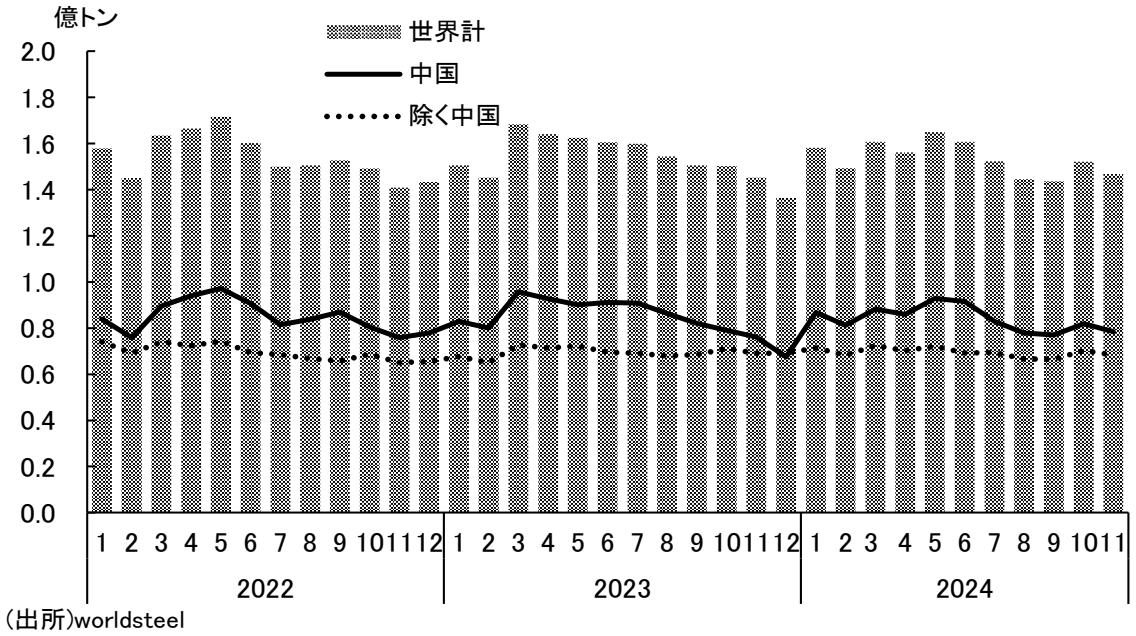
〔表1〕主要国の粗鋼生産

（単位：100万MT、%）

	2024年11月	前年同月比	2024年1～11月	前年同期比
日本	6.9	▲ 3.1	77.1	▲ 3.6
中国	78.4	2.5	929.2	▲ 2.7
韓国	5.2	▲ 3.6	58.3	▲ 4.9
台湾	1.6	0.4	17.5	0.2
インド	12.0	1.6	134.5	4.8
米国	6.4	▲ 2.8	72.9	▲ 2.2
ブラジル	2.8	1.9	31.2	5.6
EU27	10.7	3.9	119.9	2.2
ロシア	5.5	▲ 9.2	64.9	▲ 7.0
世界計	146.8	0.8	1,694.6	▲ 1.4

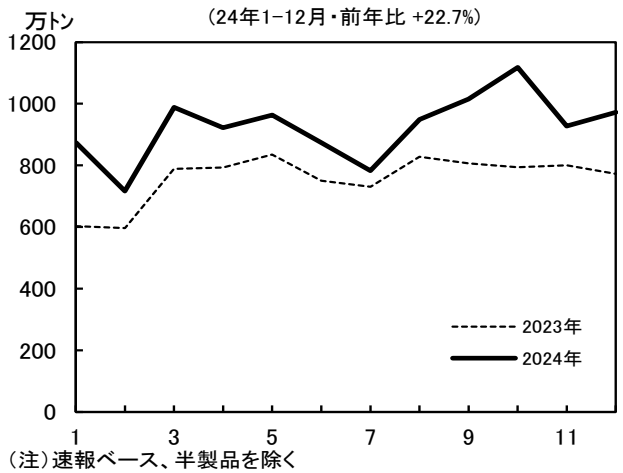
（出所）worldsteel等

〔図1〕世界粗鋼生産



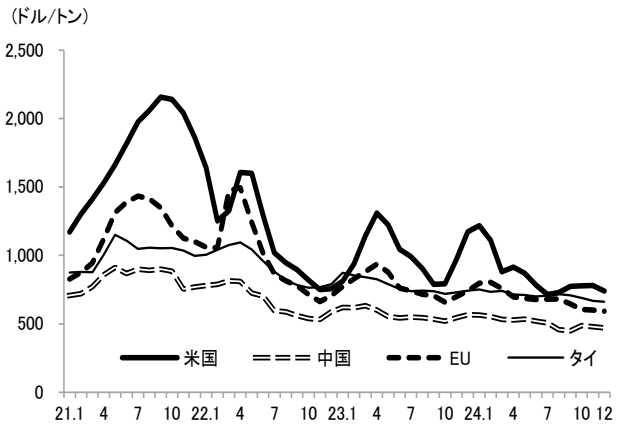
(出所)worldsteel

〔図2〕中国鋼材輸出



(注)速報ベース、半製品を除く
(出所)中国海関総署

〔図 3〕熱延コイル市況推移



(出所)Kallanish